

令和5年度第1回岩手県職業能力開発審議会

日時 令和5年6月15日（木）14時00分～

場所 岩手県水産会館 5階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長選出
- 5 議 題

(1) 報告

ア 令和4年度県立職業能力開発施設における学卒者訓練実施結果について
(資料1-1、資料1-2)

イ 令和5年度県立職業能力開発施設における学卒者訓練実施状況について
(資料2-1、資料2-2)

ウ 令和4年度卒業・修了年次生アンケート調査結果 (資料3)

(2) 協議・意見交換

第11次岩手県職業能力開発計画の令和4年度実績と令和5年度の取組みについて
(資料4)

- 6 その他
- 7 閉 会

令和5年度第1回岩手県職業能力開発審議会 出席者名簿

1 委員

構成区分	氏名	所属	職名	備考
学識経験者	伊藤 智恵子	職業訓練法人釜石職業訓練協会	事務局長	出席
	岡田 寛史	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	教授	出席
	齊藤 真理子	学校法人スコーレ 盛岡スコーレ高等学校	校長	出席
	瀬戸 和彦	岩手県高等学校長協会	工業部会長	出席
	西村 文仁	国立大学法人岩手大学理工学部	教授	出席
関係事業主代表	工藤 昌代	株式会社ホップス	代表取締役	出席
	田鎖 健一	株式会社エフビー	代表取締役社長	出席
	千葉 智充	株式会社千葉建設	代表取締役社長	出席
	引地 千恵	有限会社開運興業	代表取締役	出席
	吉田 ひさ子	有限会社いわてにつかコミュニティ企画	代表取締役	出席
関係労働者代表	小林 斉	電機連合岩手地域協議会	事務局長	出席
	佐々木 正人	日本労働組合総連合会岩手県連合会	副事務局長	出席
	佐藤 茂生	岩手県東北電力関連産業労働組合総連合	会長	出席
	菅原 寿美子	岩手県社会福祉事業団職員労働組合	特別執行委員	出席
	豊嶋 昌勝	全日本自動車産業労働組合総連合会岩手地方	議長	出席

※氏名は構成区分毎に五十音順

2 特別委員

特別委員	日原 潤一	岩手労働局	職業安定部長	出席
	多田 拓章	岩手県教育委員会事務局 学校教育室	首席指導主事兼 産業・復興教育課長	出席

3 事務局等

事務局	高橋 孝政	岩手県商工労働観光部	副部長兼商工企画室長	出席
	三河 孝司	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	室長	出席
	菅原 俊樹	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	労働課長	出席
	金 今 邦 仁	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	特命課長	出席
	飯坂 覚	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主任主査	出席
	佐々木 克幸	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主査	出席
	小野 寺 絵理	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主任	出席
	上野 桃花	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	主事	出席
	古谷 田 鶴子	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	公共職業訓練連携推進員	出席
安達 和香子	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室	事務補助	出席	

令和4年度県立職業能力開発施設における学卒者訓練実施結果（就職状況等）

令和5年4月15日現在

施設名	訓練科名	課程	訓練期間	定員	修了者数	就職希望者の状況										進学者等	
						就職内定者数			未定者数②	合計①+②	就職率	県内に事業所がある企業への就職率	令和3年度県内に事業所がある企業への就職率	令和3年度比	県内に本社がある企業への就職率		
						県内	県外	計①									
産業技術短期大学校	本校	専門(高卒)	2年	メカトロニクス技術科	20	17	14	1	15	0	15	100.0%	93.3%	86.7%	6.7%	26.7%	2
				電子技術科	20	16	14	1	15	0	15	100.0%	93.3%	85.0%	8.3%	46.7%	1
				建築科	20	22	16	3	19	0	19	100.0%	84.2%	93.8%	-9.5%	68.4%	3
				産業デザイン科	20	21	14	7	21	0	21	100.0%	66.7%	75.0%	-8.3%	57.1%	0
				情報技術科	20	20	12	7	19	0	19	100.0%	63.2%	65.2%	-2.1%	31.6%	1
	産業技術専攻科	応用短期	1年	10	3	0	1	1	0	1	100.0%	-%	100.0%	-	-	2	
	本校計				110	99	70	20	90	0	90	100.0%	77.8%	80.0%	-2.2%	47.2%	9
	水沢校	専門(高卒)	2年	生産技術科	20	8	5	2	7	1	8	87.5%	71.4%	76.5%	-5.1%	28.6%	0
				電気技術科	20	12	10	2	12	0	12	100.0%	83.3%	78.6%	4.7%	16.7%	0
				建築設備科	20	11	9	2	11	0	11	100.0%	81.8%	85.7%	-3.9%	63.6%	0
水沢校計				60	31	24	6	30	1	31	96.8%	80.0%	80.0%	0.0%	36.7%	0	
短大計				170	130	94	26	120	1	121	99.2%	78.3%	80.0%	-1.7%	44.5%	9	
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	20	13	13	0	13	0	13	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	92.3%	0	
	計			20	13	13	0	13	0	13	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	92.3%	0	
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	15	9	9	0	9	0	9	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0	
	金型技術科	普通(高卒)	1年	10	6	6	0	6	0	6	100.0%	100.0%	-	-	16.7%	0	
	計			25	15	15	0	15	0	15	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	66.7%	0	
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	2年	20	9	9	0	9	0	9	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0	
	建築科	普通(高卒)	2年	15	9	8	1	9	0	9	100.0%	88.9%	87.5%	1.4%	88.9%	0	
	計			35	18	17	1	18	0	18	100.0%	94.4%	95.0%	-0.6%	94.4%	0	
能開校計				80	46	45	1	46	0	46	100.0%	97.8%	97.3%	0.5%	84.8%	0	
全施設合計				250	176	139	27	166	1	167	99.4%	83.7%	83.6%	0.1%	55.4%	9	
令和3年度実績				250	192	106	71	177	3	180	98.3%	83.6%	-	-	59.9%	8	

注) *は企業派遣の訓練生数

【参考】令和4年度施設別求人状況

施設名	修了者数	求人状況						
		県内		県外		計		
		社	人	社	人	社	人	
産業技術短期大学校	矢巾校	メカトロニクス技術科	17	79	101	101	180	180
		電子技術科	16	81	117	117	198	198
		建築科	22	94	94	63	157	157
		産業デザイン科	21	57	57	56	113	113
		情報技術科	20	65	65	91	156	156
	産業技術専攻科	3	62	62	64	126	126	
	小計		99	438	438	492	930	930
	水沢校	生産技術科	8	102	102	117	219	219
		電気技術科	12	110	110	138	248	248
		建築設備科	11	122	122	116	238	238
小計		31	334	334	371	705	705	
高等技術専門学校	千厩校	自動車システム科	13	31	153	61	829	92
		自動車システム科	9	32	156	62	1,063	94
		金型技術科	6	14	31	-	14	31
	小計		15	46	187	62	1,063	108
	二戸校	自動車システム科	9	35	163	57	858	92
建築科		9	21	37	22	249	43	
小計		18	56	200	79	1,107	135	
全施設合計		176	905	1,312	1,065	3,862	1,970	
令和3年度実績		192	802	1,179	892	4,050	1,694	

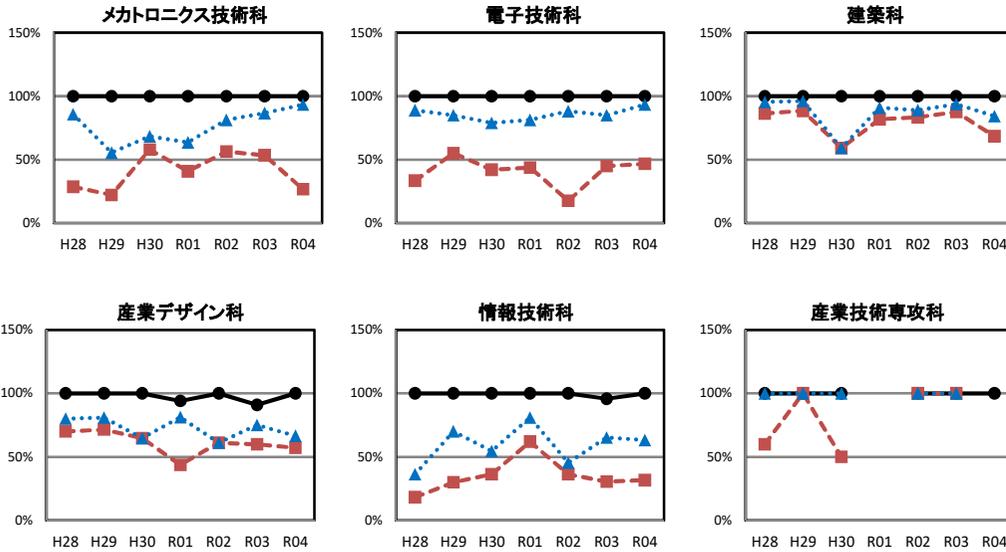
1. 産業技術短期大学校

産業技術短期大学校の就職率と県内就職率

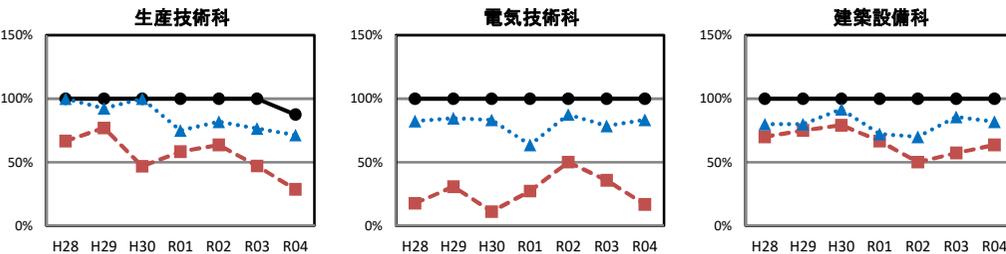
施設名	訓練科名	課程	定員	就職率								県内就職率								(県内事業所、所在企業への就職率)							
				H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04			
本校	メカトロニクス技術科	専2	20	100	100	100	100	100	100	100	29	22	58	41	56	53	27	(86)	(56)	(68)	(64)	(81)	(87)	(93)			
	電子技術科	専2	20	100	100	100	100	100	100	100	33	55	42	44	18	45	47	(89)	(85)	(79)	(81)	(88)	(85)	(93)			
	建築科	専2	20	100	100	100	100	100	100	100	86	88	59	82	83	88	68	(95)	(96)	(59)	(91)	(89)	(94)	(84)			
	産業デザイン科	専2	20	100	100	100	94	100	91	100	70	71	65	44	61	60	57	(80)	(81)	(65)	(81)	(61)	(75)	(67)			
	情報技術科	専2	20	100	100	100	100	100	96	100	18	30	36	62	36	30	32	(36)	(70)	(55)	(81)	(46)	(65)	(63)			
	産業技術専攻科	応短1	10	100	100	100	100	100	100	100	60	100	50	100	100	100	100	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)			
	生産技術科	専2	20	100	100	100	100	100	88	67	77	47	58	64	47	29	(100)	(92)	(100)	(75)	(82)	(77)	(71)				
水沢校	電気技術科	専2	20	100	100	100	100	100	100	18	31	11	27	50	36	17	(82)	(85)	(83)	(64)	(88)	(79)	(83)				
	建築設備科	専2	20	100	100	100	100	100	100	70	75	79	67	50	57	64	(80)	(80)	(92)	(72)	(70)	(86)	(82)				
	短大計		170	100	100	100	99	100	98	99	51	59	51	55	52	51	45	(79)	(81)	(75)	(77)	(74)	(80)	(78)			

実線：●就職率 破線：■県内就職率(県内に本社がある企業) 点線：▲県内事業所、所在企業への就職率

(1)本校



(2)水沢校



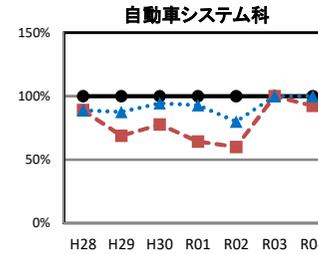
2. 職業能力開発校(高等技術専門校)

職業能力開発校の就職率と県内就職率

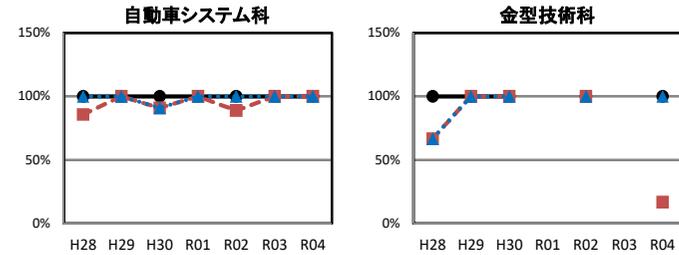
施設名	訓練科名	課程	定員	就職率								県内就職率								(県内事業所、所在企業への就職率)							
				H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04			
千厩	自動車システム科	普2	20	100	100	100	100	100	100	100	89	69	78	64	60	100	92	(89)	(88)	(94)	(93)	(80)	(100)	(100)			
	自動車システム科	普2	15	100	100	100	100	100	100	100	86	100	91	100	89	100	100	(100)	(100)	(91)	(100)	(100)	(100)	(100)			
	金型技術科	普1	10	100	100	100	100	100	100	100	67	100	100	100	17	(67)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)				
	自動車システム科	普2	20	100	94	100	100	100	100	100	87	81	100	62	73	83	100	(100)	(94)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)			
	建築科	普2	15	100	100	92	100	100	100	100	88	47	46	40	89	88	89	(88)	(71)	(77)	(60)	(89)	(88)	(89)			
能開校計		80	100	98	98	100	100	100	100	87	70	82	69	78	92	85	(93)	(86)	(92)	(90)	(92)	(97)	(98)				

実線：●就職率 破線：■県内就職率(県内に本社がある企業) 点線：▲県内事業所、所在企業への就職率

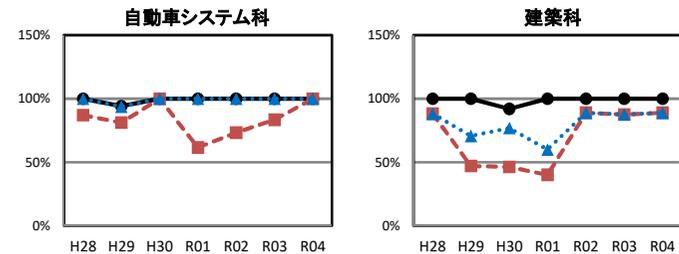
(1)千厩校



(2)宮古校



(3)二戸校



令和5年度県立職業能力開発施設における入校・在籍状況

令和5年4月15日

施設名	訓練科名	課程	学年	定員	応募者数	入校者数	在籍者数	定員充足率	うち女子	うち県外	備考	
産業技術短期大学校	本校	メカトロニクス技術科	1年	20	21	17	18	90.0%	1	0		
			2年	20		21	19	95.0%	1	0		
		電子技術科	1年	20	25	20	20	100.0%	1	2		
			2年	20		22	22	110.0%	1	0		
		建築科	専門(高卒)	1年	20	47	22	22	110.0%	7	0	
				2年	20		22	22	110.0%	6	0	
		産業デザイン科	1年	20	41	21	23	115.0%	19	1		
			2年	20		20	18	90.0%	16	0		
	情報技術科		1年	20	71	24	24	120.0%	2	0		
			2年	20		23	23	115.0%	4	0		
	産業技術専攻科	応用短期	1年	10	5	5	5	50.0%	0	0		
	矢中校計				210		217	216	102.9%	58	3	
	水沢校	生産技術科	専門(高卒)	1年	20	9	11	11	55.0%	3	0	
				2年	20		13	13	65.0%	0	0	
		電気技術科	1年	20	14	16	16	80.0%	0	0		
			2年	20		7	6	30.0%	0	0		
		建築設備科	1年	20	7	11	11	55.0%	0	0		
2年			20		15	15	75.0%	1	0			
水沢校計				120		73	72	60.0%	4	0		
短大計				330		290	288	87.3%	62	3		
短大学年別			1年	170	240	147	150	88.2%	33	3		
			2年	160		143	138	86.3%	29	0		
千歳高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	1年	20	14	13	13	65.0%	0	1		
			2年	20		17	16	80.0%	1	1		
	計				40		30	29	72.5%	1	2	
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	1年	15	11	11	11	73.3%	1	1		
			2年	15		17	13	86.7%	0	0		
	金型技術科	普通(高卒)	1年	10	5	5	50.0%	0	0			
	計				40		33	29	72.5%	1	1	
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	普通(高卒)	1年	20	14	10	10	50.0%	0	0		
			2年	20		9	8	40.0%	0	0		
	建築科	普通(高卒)	1年	15	5	5	5	33.3%	0	0		
			2年	15		8	7	46.7%	0	0		
	計				70		32	30	42.9%	0	0	
能開校計				150		95	88	58.7%	2	3		
能開校学年別			1年	80	49	44	44	55.0%	1	2		
			2年	70		51	44	62.9%	1	1		
全施設学年別			1年	250	289	191	194	77.6%	34	5		
			2年	230		194	182	79.1%	30	1		
全施設合計				480		385	376	78.3%	64	6		

※ 応募者数は第一志望の応募者数である

※ 入校者数については、第二志望での合格者も含む

1. 産業技術短期大学校

産業技術短期大学校の定員充足率

施設名	訓練科名	課程	定員	入校状況(定員充足率)								
				H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	
産業技術短期大学校	本校	メカトロニクス技術科	専2	20	105%	105%	110%	90%	90%	90%	110%	90%
		電子技術科	専2	20	125%	110%	105%	110%	120%	90%	110%	100%
		建築科	専2	20	145%	135%	120%	105%	95%	115%	110%	110%
		産業デザイン科	専2	20	105%	95%	95%	100%	120%	105%	105%	115%
		情報技術科	専2	20	105%	115%	105%	110%	125%	100%	115%	120%
		産業技術専攻科	応短1	10	70%	30%	40%	20%	40%	30%	30%	50%
	水沢校	生産技術科	専2	20	70%	90%	95%	50%	85%	40%	65%	55%
		電気技術科	専2	20	70%	100%	75%	50%	90%	75%	35%	80%
		建築設備科	専2	20	105%	125%	95%	60%	100%	60%	75%	55%
短大計				170	102%	101%	96%	81%	99%	89%	87%	88%

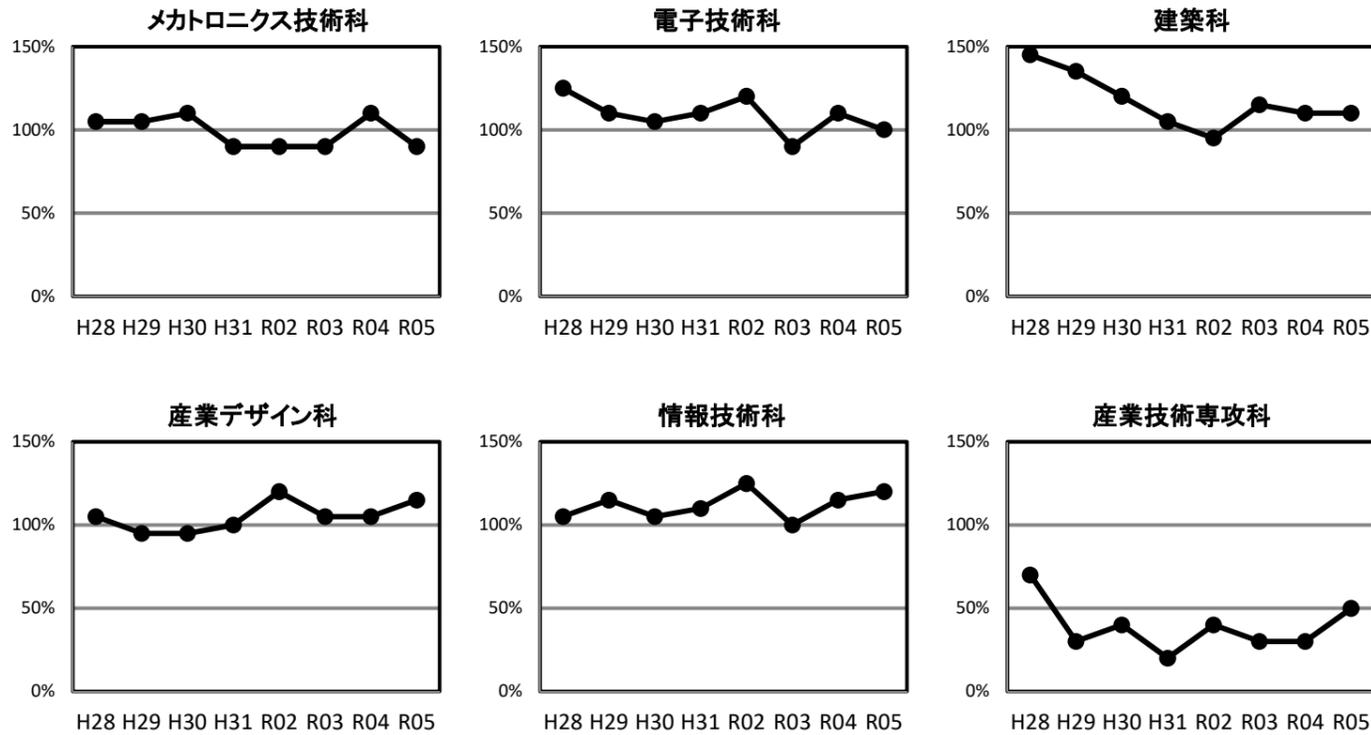
2. 職業能力開発校(高等技術専門校)

職業能力開発校の定員充足率

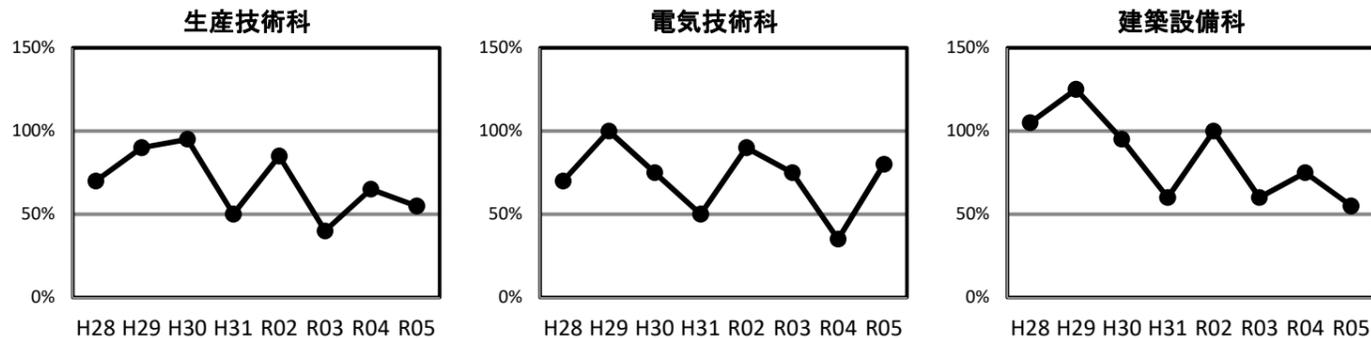
施設名	訓練科名	課程	定員	入校状況(定員充足率)								
				H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	
職業能力開発校	千厩	自動車システム科	普2	20	85%	95%	75%	85%	50%	65%	85%	65%
		自動車システム科	普2	15	53%	93%	93%	60%	60%	60%	113%	73%
	宮古	金型技術科	普1	10	40%	30%	60%	20%	30%	0%	60%	50%
		自動車システム科	普2	20	100%	105%	75%	75%	100%	50%	45%	50%
	二戸	建築科	普2	15	113%	93%	67%	60%	53%	67%	53%	33%
能開校計				80	83%	85%	75%	65%	63%	53%	71%	55%

(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
高校卒業予定者数	11,079	10,625	9,982	10,297	10,015	9,935	9,726	9,558	9,270	9,128	9,040	8,425	8,385	8,307	7,923	7,445

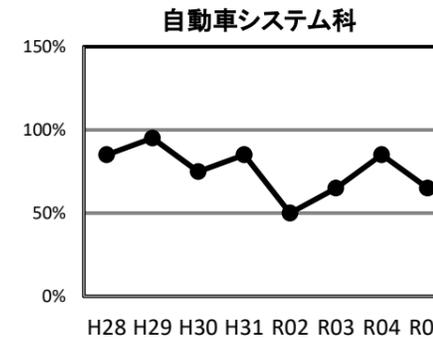
(1) 矢巾校



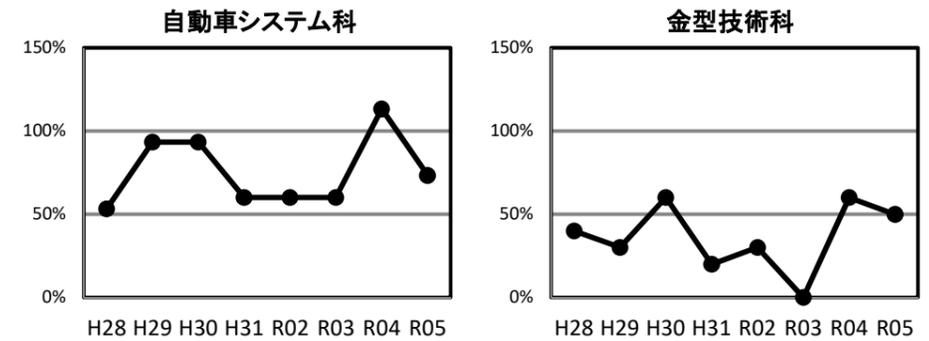
(2) 水沢校



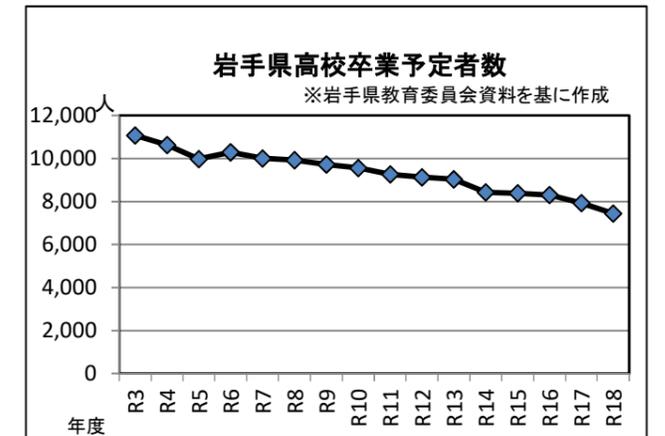
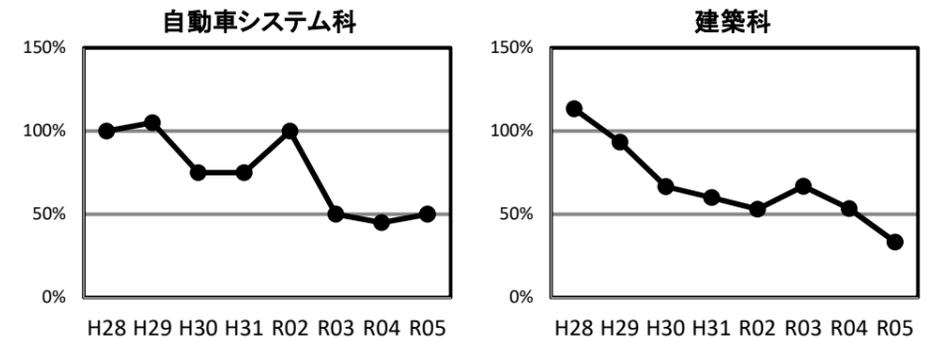
(1) 千厩校



(2) 宮古校



(3) 二戸校



令和4年度 卒業・修了年次生アンケート調査結果の概要

問 1 所属と回答数（修了者数）：回答率 98.8%

施設名	訓練科名	
産業技術短期 大学校本校	メカトロニクス技術科	17 (17)
	電子技術科	16 (16)
	建築科	21 (22)
	産業デザイン科	20 (21)
	情報技術科	20 (20)
	産業技術専攻科	3 (3)
産業技術短期 大学校水沢校	生産技術科	8 (8)

施設名	訓練科名	
産業技術短期 大学校水沢校	電気技術科	12 (12)
	建築設備科	11 (11)
千厩高等技術 専門学校	自動車システム科	13 (13)
宮古高等技術 専門学校	自動車システム科	9 (9)
	金型技術科	6 (6)
二戸高等技術 専門学校	自動車システム科	8 (9)
	建築科	9 (9)

合計 173 人 (176 人) (R03 年度 192 人) [R02 年度 180 人]

以下、上位回答 順に R4 回答、R3 回答、R2 回答

問 2 出身地 ①県南部 37.6%(33.2%) [27.8] ②盛岡 19.1%(23.2%) [21.7] ③県央部 13.9%(12.6%) [13.9]

【入学について】

問 3 第何志望ですか ①第1志望 81.5% ②第2志望 15.0% ③第3志望以下 3.5%

【進路について】

問 4 進路 ①就職 94.2%(94.7) [95.6] ②進学 3.5%(4.2) [3.5] ③その他 1.7%(0.5) [1.7]

問 5 就職先 ①岩手県 70.6%(71.1) [67.6] ②首都圏 13.5%(17.8) [16.2] ③宮城県 7.4%(6.1) [5.2]

問 6 就職先は希望どおりか ①第1志望 63.2%(63.2) [62.2] ②第1志望に近い 27.0%(27.0) [31.7]

問 7 就職先を意識した時期 ①1年後半 45.1%(48.6) [39.1] ②入学以前 21.0%(21.7) [24.9]

問 8 当初の希望とその結果 ①県内→県内 62.7%(64.6) [60.7] ②県外→県外 19.3%(19.4) [20.2]
③県外→県内 9.9%(8.6) [10.4] ④県内→県外 8.1% (7.4%) [8.6%]

問 9 地域を選択した理由 (3位までに選んだ延べ人数)

①働きたい企業有 89人 ②私生活が充実 84人 ③夢に挑戦 82人

問 10 どのような会社を選択したか (3位までに選んだ延べ人数)

①やりたい仕事(職種) 79人 ②安定 70人 ③将来性 54人 ③福利厚生 49人

問 11 就職先で重視すること (1位選択率)

①職種 33.5%(46.9%) [50.6] ②地域 23.6%(24.6%) [16.1] ②業種 23.6%(16.6) [21.8]

問 12 将来Uターンを考えているか ①考えている(合計) 50.9% ②考えていない・わからない 49.1%

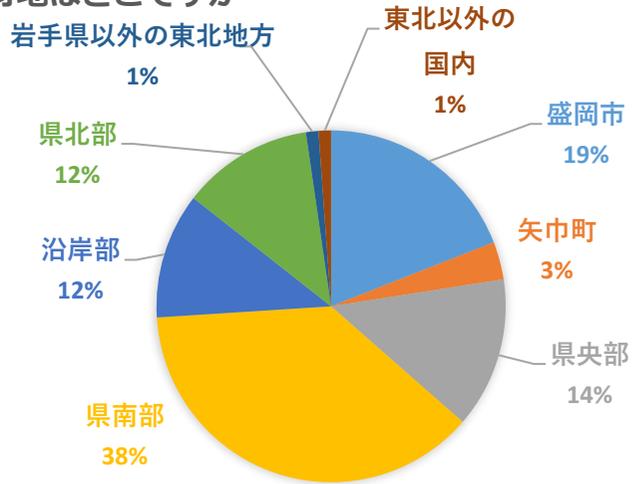
【学校生活全般について】 ①満足及びどちらかといえば満足の割合 施設別満足度

問 13 (1) 学習のサポート環境	95.9% (97.8) [89.3]	矢巾 93.8	水沢 100	千厩 92.3	宮古 93.3	二戸 100
(2) 施設的环境	92.5% (89.9) [88.7]	矢巾 96.9	水沢 93.6	千厩 46.2	宮古 86.7	二戸 100
(3) 訓練設備の環境	89.4% (93.1) [87.0]	矢巾 91.7	水沢 87.1	千厩 46.2	宮古 90.0	二戸 100
(4) 経済的支援制度	95.0% (95.7) [90.3]	矢巾 91.6	水沢 100	千厩 92.8	宮古 100.0	二戸 100
(5) 寄宿舎施設の環境	71.9% (80.2) [71.2]	矢巾 77.5	水沢 73.3	千厩 20.0	宮古 50.0	二戸 76.9
(6) 事務室の対応	89.4% (96.9) [93.7]	矢巾 84.5	水沢 100	千厩 77.0	宮古 100.0	二戸 100

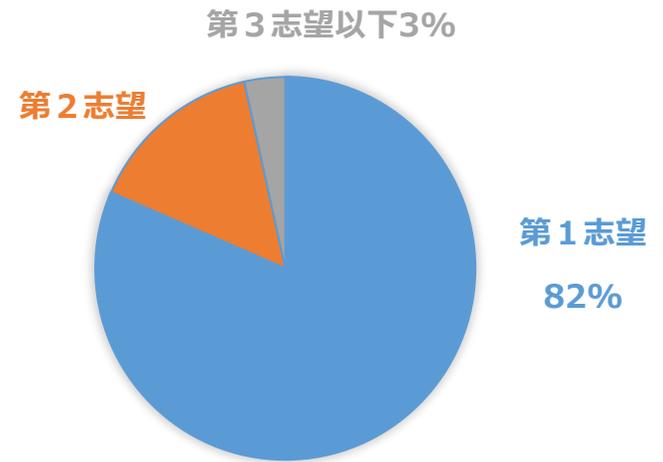
問 17 学生生活は充実していましたか ①とても充実していた 54.2% ②やや充実していた 39.5%

③あまり充実していなかった 4.7% ④まったく充実していなかった 1.6%

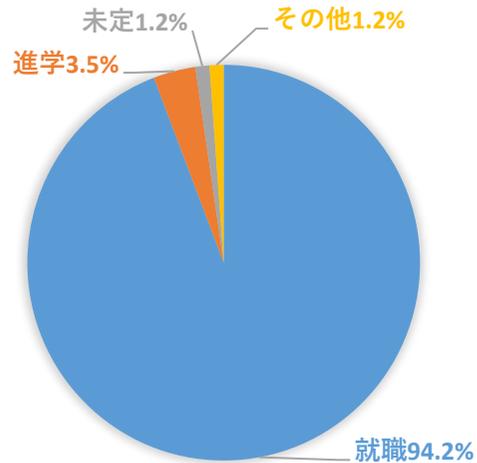
問2 出身地はどこですか



問3 本校は第1志望でしたか



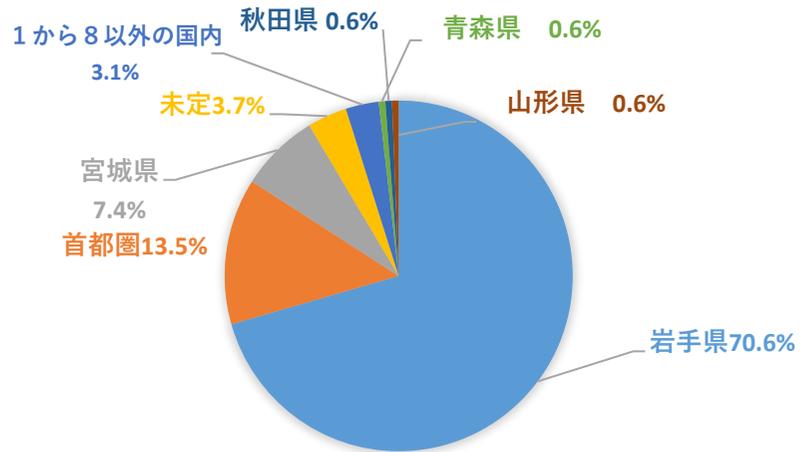
問4 進路は次のうちどれですか



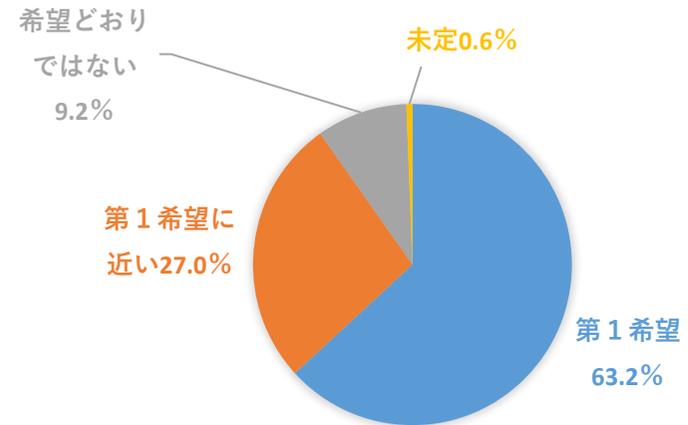
問3「第2志望」「第3志望以下」とお答えの方にお聞きします。他に受験した学校名及び学科名などをご記入ください。

		他に受験した学校
矢巾校	メカトロニクス技術科	岩手県立大学 矢巾校 情報技術科 矢巾校 建築科
	電子技術科	矢巾校 建築科 矢巾校 情報技術科 岩手県理工学部システム創生工学科 知能・メディアコース 岩手県立大学
	建築科	岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
	産業デザイン科	矢巾校 情報技術科 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
	情報技術科	岩手県立大学 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 室蘭工業大学 山形大学
水沢校	建築設備科	矢巾校 建築科 矢巾校 産業デザイン科 矢巾校 建築科
千厩校	自動車システム科	仙台高等技術専門学校
宮古校	自動車システム科	千厩校 自動車システム科
二戸校	建築科	矢巾校 建築科

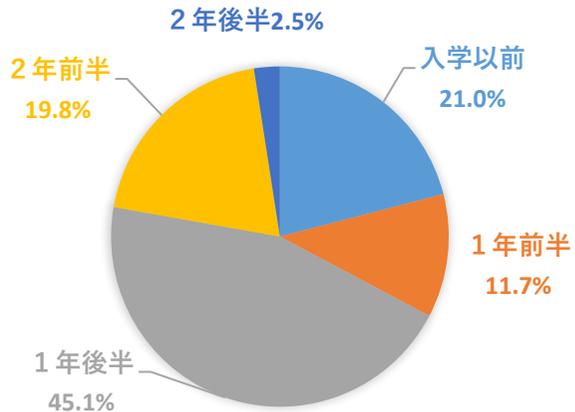
問5 卒業・修了後の就職先は、次のうちどこですか



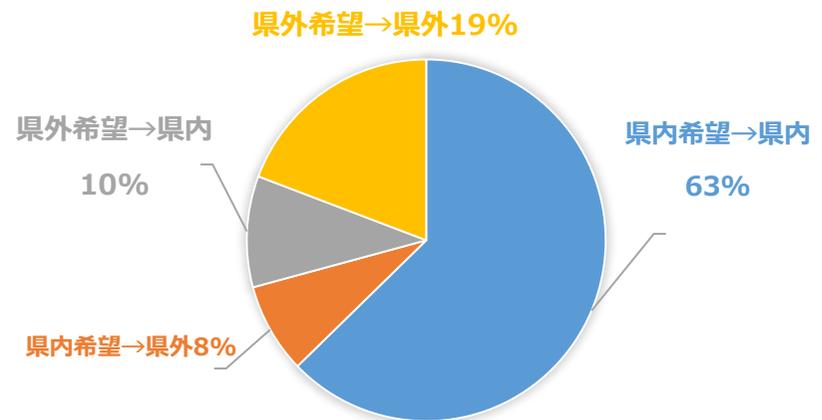
問6 就職先は希望どおりでしたか？



問7 意識し始めた時期はいつですか



問8 就職先の当初の希望と結果



問8 就職する地域が変わった理由（2 県内→県外、3 県外→県内と回答した方）

矢巾校	1	そこに合格できたから。
	2	いいところがあった。
	3	実家と近い方がいいと思ったから。
	4	家から通いたかったから。
	5	部署が県外にしかなかった。
	6	志望した業界が県外の方が多かったから。
	7	自分の目指す職種が岩手にないのが分かったから。
	8	就職に対する考えが変わったから。
	9	希望条件の企業に就職することが難しかったから。
	10	自分のやりたいことが変わったから。
	11	やりたいことが出来ればどこでも良い。
	12	第一希望の企業に就けなかった。
	13	東京に本社があるが盛岡にもオフィスがあったのでそっちに入れられた。
	14	成り行きでなってしまったが、特にこだわりはなかったので県外就職。
	15	岩手にその職種が少なかったからほかの地域に注目せざるを得なかった。その時気になっていた内の1社から内定をいただき、たまたま県外だった。
	16	特に地域にこだわりはなかったが、第一志望の就職先に書類を提出できず、次に選んだのが県外の企業だった。
	17	実家までの距離や物価などを考えた際に岩手がちょうどよいと思ったため。
水沢校	1	親と相談してここに行きたいと言ったから。
	2	自立したかったため。
	3	就職先が県内にしかなかったため。
	4	金銭的な理由で県外から県内に変更した。
	5	現実的に考えるようになったから。
	6	自分が希望する待遇で企業を探していると、どうしても県外になった。
千厩校	1	岩手ダイハツを見学して良いと思ったから。
宮古校	1	岩手が好きだから。

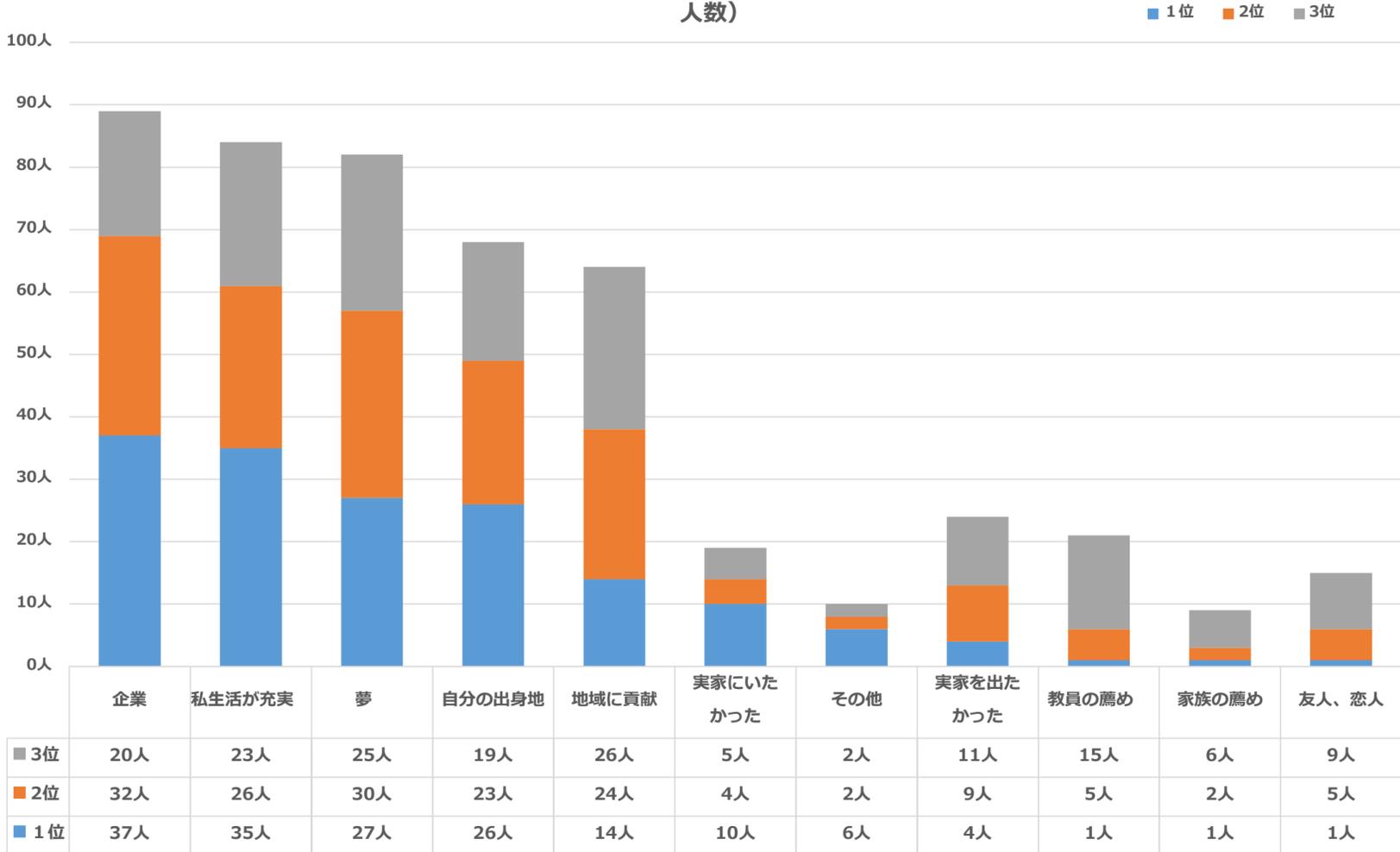
就職活動をとおして、気づいた点、要望、後輩へのアドバイスなど自由に記入してください。

矢 巾 校	1	面接はいろいろネタがあれば便利です。
	2	早めに行動する。
	3	何事も早めの行動がいいし、気になった企業には訪問した方がいいと思います。
	4	成績も関係してくるので一年生の内から頑張ってもらいたい。
	5	就職活動は早めに。
	6	前もって早めに行動しておくことが大事だと思う。
	7	1年生の時からどの業種、職種やどの企業に行きたい、そして自己分析をしておくことを強く勧める。
	8	早めから行動するべき。
	9	自分の軸をしっかり持ってがんばってください。
	10	結局は自分次第。
	11	周りが就職先が決まってくるとどんどん不安になったり、自分も早く決めなければと焦りがでてきたりすると思う。けれども、息抜きをしつつ、焦らず自分に合う企業を見つければいい。早く内定を貰ったからと言って必ずしもいいとは限らない。辛いこともあると思うけど頑張ってる…!!応援してます。
	12	好きなことにチャレンジしよう！
	13	早めに動いていたら、後々先に動いた分だけ自分を助けてくれる。
	14	希望の職業があれば、企業を選ばず早めに受けること。早い段階で働くイメージができていると良い。
	15	就活中は視野が狭くなる場合もある。いつの間にか選択肢を自分で狭めていたり、自分にとって良い企業なのか悪い企業なのかに気づけなかったりすることもあるので、視野を広く持つことも意識した方がいい。
	16	就職するなら、焦らず考えて行動すべき周りに流されないように。
	17	インターンシップや交流を積極的に！
	18	やりたいことを早めに決めといたほうが良い。
	19	会社とのタイミングと相性が大きいと思うので落ちてもそんなにへこまなければそれでいいと思う。
	20	早めに活動を始めればよい結果になると思います。
	21	先輩のアドバイスや報告書は思った以上に役に立つ。
	22	社会を知る機会だけは積極的に参加してください。(企業説明会ではなくインターンシップや工場見学など。)あとは先生とか就職支援の人に聞けば何とかあります。
	23	早すぎて困ることはない。また、自己分析で思いつめるぐらいならあまり深く考えないほうが良い。
	24	分からないことは先生方や企業にすぐに問い合わせた方が絶対に良い。
	25	早めに行動。
	26	準備は早めに。
水 沢 校	1	自分だけでは就職は出来ないの、先生たちと協力して就職活動をしていくのが大事。また先生方だけが頑張っているだけでも生徒がやる気でなければいけない。
	2	就職活動を通して、相手と会話するときの礼儀や、マナーについて理解する事ができました。また、面接練習だけではなくSPIなどの試験対策を1年生の時から行ったほうが良いと思いました。
	3	いくつかの企業を見学し、社内の雰囲気や自分に合った職種かを、実際に自分の目で確かめることが必要だと思います。
	4	先生のアドバイスを聞きながらやれば良い感じになります。
	5	面接練習はした方が良い。
	6	なるべく早めに行動する。
	7	自分を第三者目線から見るのが大切だと感じました。
	8	思っている以上に自分のことは自分で分かっていない。自己分析を早めに意識するべきだと思った。また、他己分析も大切だと思った。凝り固まった考えを解いて、もう一度自分が何をしたいのかを見直してみることで就職先が変わった。

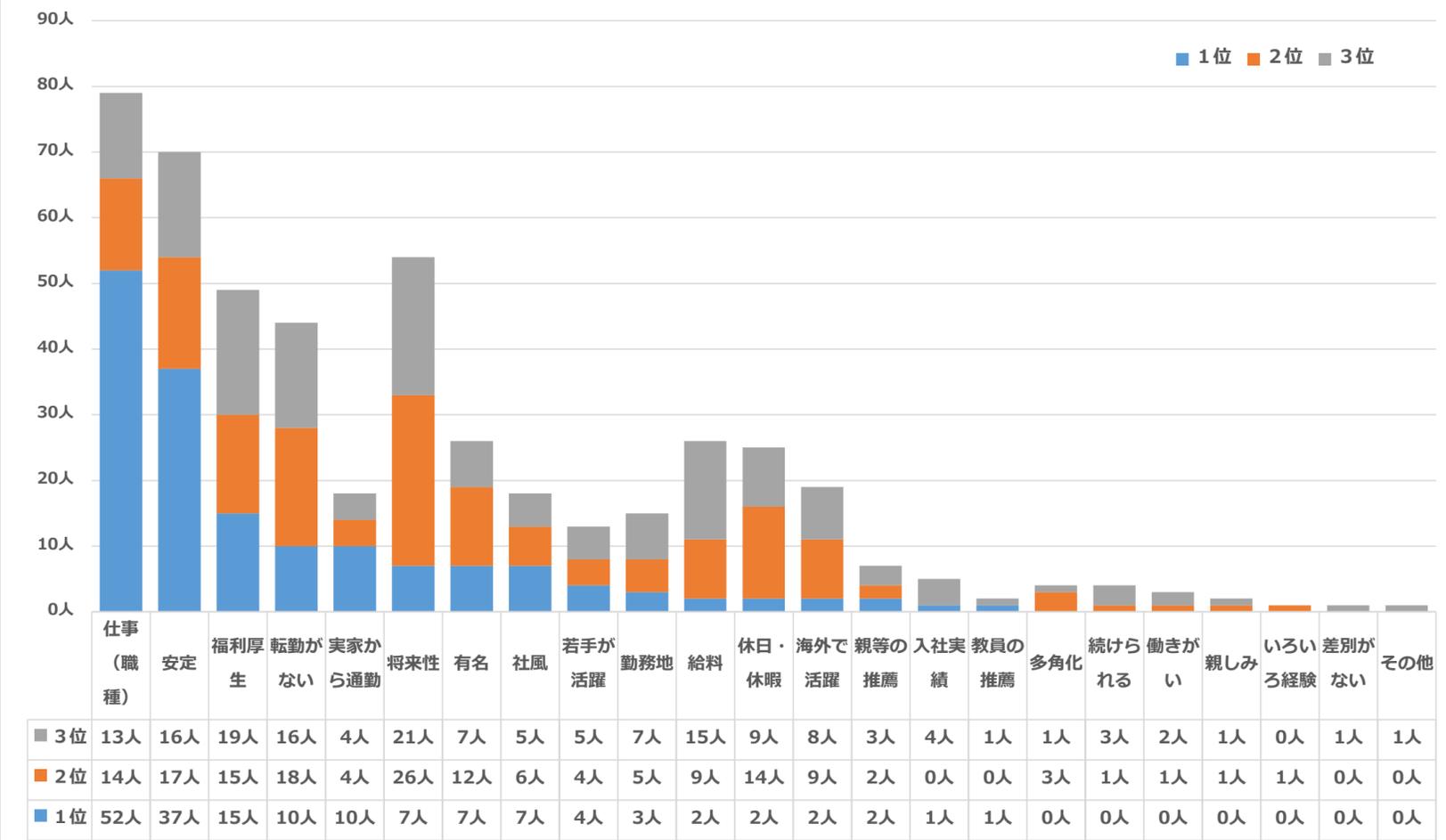
就職活動をとおして、気づいた点、要望、後輩へのアドバイスなど自由に記入してください。

水沢校	9	履歴書を考えるのは夏休みからやっておくべき。
	10	自分がやりたいことは自分で見つけた方がいい。学校や地域の行事などに積極的に参加し、履歴書に書ける内容を少しでも増やしておいた方がいいと思う。
	11	興味あるやつに行ったほうがいい。
	12	会社訪問はたくさんして、いっぱい話をきくべき。
	13	自分がやりたいことをやったほうがいい。
	14	本当に就活に取り組むのに早くて困ることは無いと感じた。早いもの勝ちだと思う。
	15	早めに決めとけ。
千厩校	1	一社しか応募できないことを早く伝えて欲しかった。
	2	就職活動や試験の対策は良かった。
宮古校	1	会社の内容を見て先の事を考えて決めた方がいいと思う。
	2	自分の行きたい企業に実際に行ってみた方がいい。
	3	求人票をよく見ておくこと。
	4	怖じけない事が大事だと思った。
	5	自分の行きたいと思う企業を選び求人情報をしっかりと確認し行う事がいいと思いました。
	6	自分がやりたいことをやって、もしくは、それをするために満足できる職場を見つけてください。目標を持ち続け得てください。
	7	特にありません。
二戸校	1	言葉遣いに気をつけよう。
	2	とりあえず頑張る。
	3	気楽にやること。

問9 就職する地域を選択した理由について、重視した順に3つ選択し、番号を記入してください。(延べ人数)



問10 就職先（企業等）を考える際、どのような会社を重視して選びましたか。順に3つ選択してください。(延べ人数)



問11 就職を考える際、次の中で重視するものはどれですか。(第1位から第4位まで選択)

1位	職種	33.5%	2位	職種	34.2%	3位	業種	29.8%	4位	地域	41.0%
	業種	23.6%		業種	33.5%		企業	26.7%		企業	39.1%
	地域	23.6%		地域	17.4%		職種	25.5%		業種	13.0%

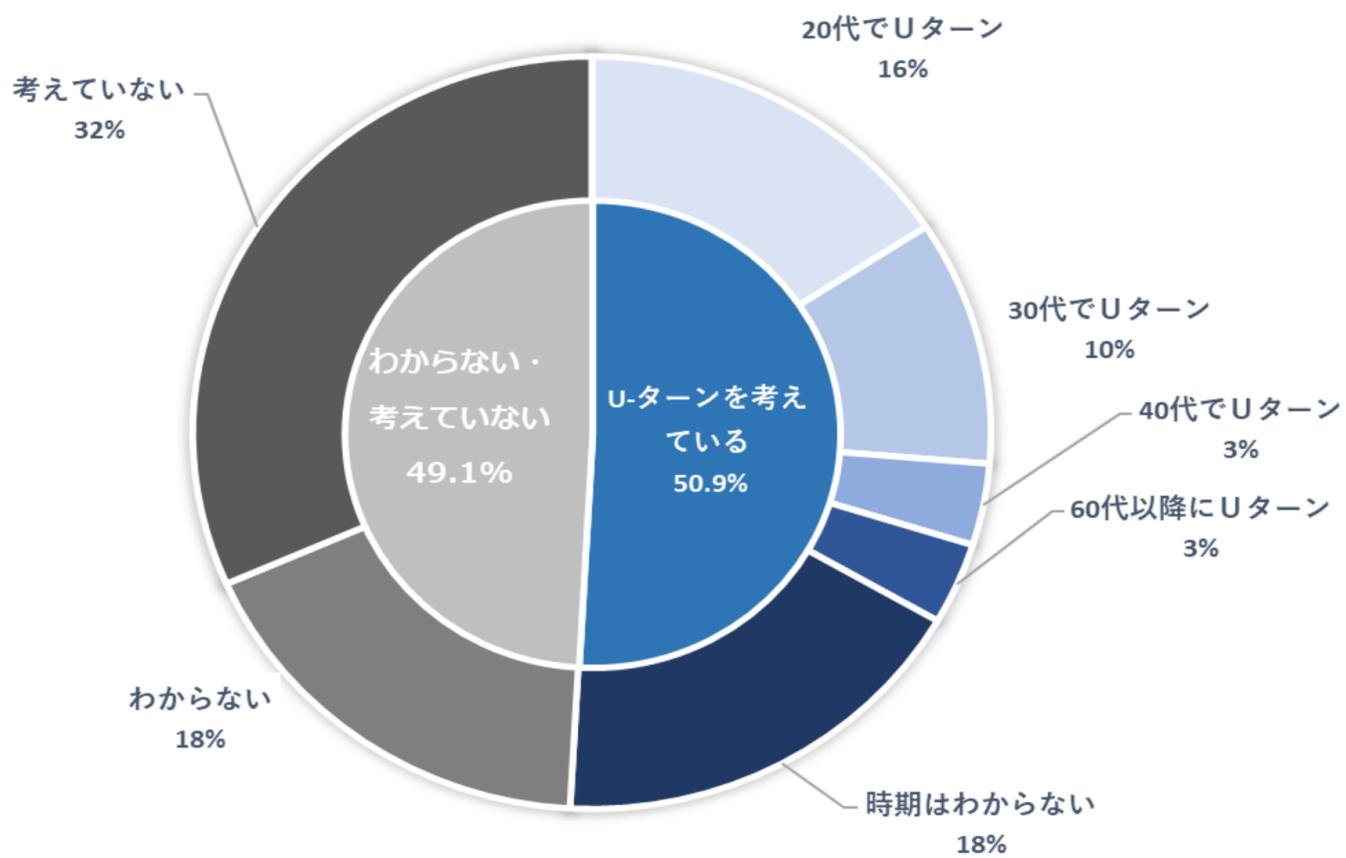


第1位から第4位までの選択別の割合

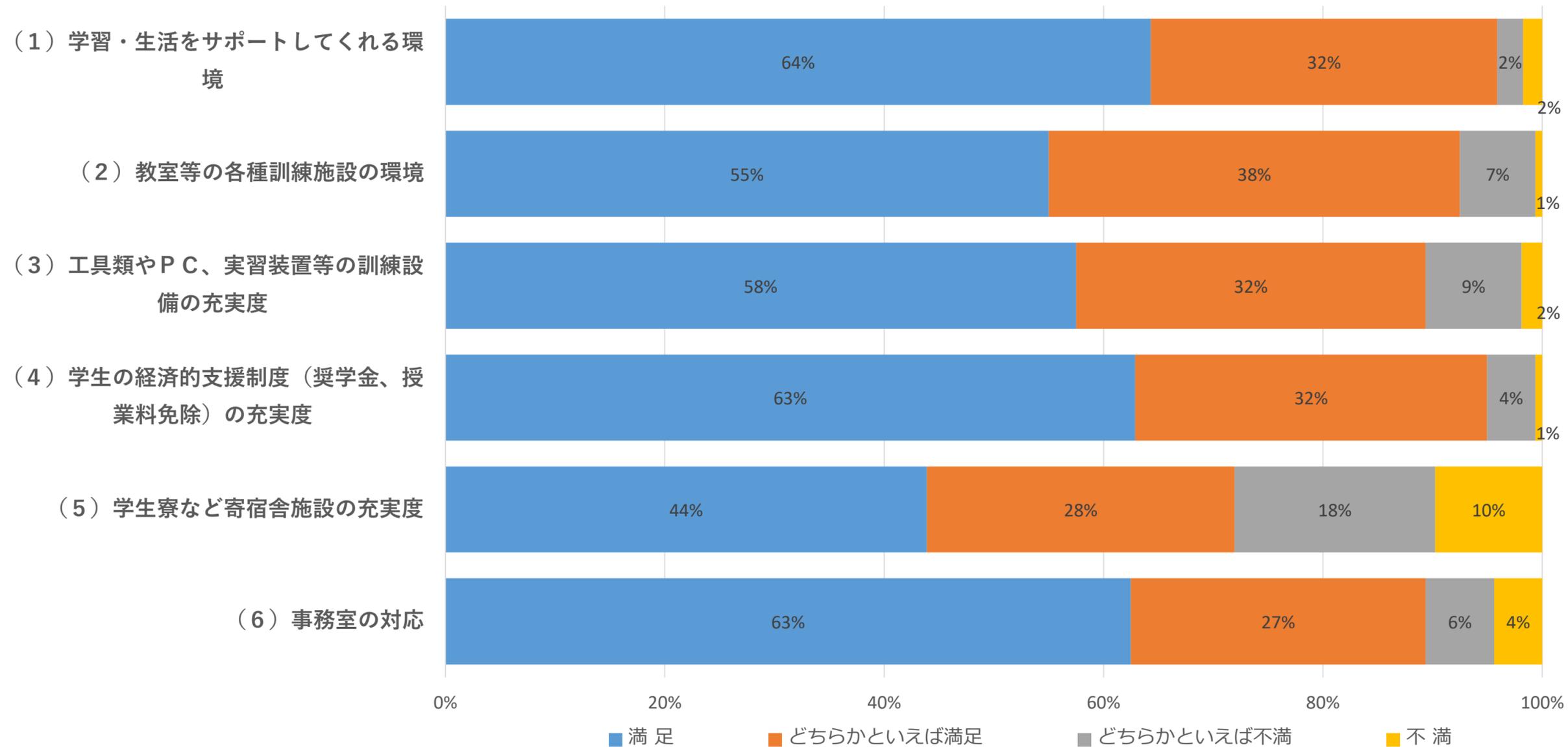
職種 → 業種 → 企業 → 地域	11.2%
地域 → 職種 → 業種 → 企業	9.9%
職種 → 業種 → 地域 → 企業	8.1%
業種 → 職種 → 企業 → 地域	7.5%
企業 → 業種 → 職種 → 地域	6.8%
業種 → 職種 → 地域 → 企業	6.8%
業種 → 企業 → 職種 → 地域	6.8%
職種 → 地域 → 業種 → 企業	6.2%
地域 → 業種 → 職種 → 企業	6.2%
職種 → 企業 → 業種 → 地域	5.0%
地域 → 職種 → 企業 → 業種	5.0%
企業 → 職種 → 業種 → 地域	3.7%
企業 → 地域 → 業種 → 職種	3.7%
企業 → 地域 → 職種 → 業種	3.1%
職種 → 地域 → 企業 → 業種	2.5%
業種 → 地域 → 職種 → 企業	1.9%
地域 → 企業 → 業種 → 職種	1.2%
企業 → 職種 → 地域 → 業種	1.2%
職種 → 企業 → 地域 → 業種	0.6%
企業 → 業種 → 地域 → 職種	0.6%
地域 → 企業 → 職種 → 業種	0.6%
業種 → 企業 → 地域 → 職種	0.6%
地域 → 業種 → 企業 → 職種	0.6%

問12 岩手県出身の方で、岩手県以外の都道府県に就職を予定している方にお聞きします。

将来、岩手県内へのUターンを考えていますか。(回答者 57名)



問13 学校生活環境について、どのくらい満足していますか。



問14 問13（2）で「教室等、各種訓練を実施する施設的环境」が「3」（どちらかといえば不満）、「4」（不満）と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。

矢巾校	1	冬の校舎内が寒いと感じた。
	2	学校内が暗く、電気をつけないと作業ができないため電気料金がかかるのではないか。
	3	空調設備（冷房）を実装してほしい。
水沢校	1	PCの不具合が多い。
	2	エアコンがない。
千厩校	1	虫等が多すぎる。
	2	教室や実習場が古いので直して欲しい。
	3	教室に虫など出る。宮古校や二戸校と施設や環境が違いすぎる。
	4	教室にひび割れがあり虫が大量に入ってくる。油庫が遠い。
	5	壊れている場所や部品がそのままになっていた。
	6	教室に扇風機しかなく、夏場が大変だったのでエアコンが欲しかった。虫が大量に発生する時期があるのでどうにかして欲しい。
	7	教室の壁が壊れていたり、虫が大量発生したり教室に入ってきて不満だった。
宮古校	1	実習上の温度が季節によって低くなったり高くなったりするから。
	2	夏はとてもあつく、冬はとても寒い（実習場）さむすぎて作業できない。
	3	ワイヤー放電加工機の凍結防止が大変でした。

問15 問13（3）で「工具類やPC、実習装置等の訓練設備の環境」が「3」（どちらかといえば不満）、「4」（不満）と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。

矢巾校	1	PCのメモリが8GBだったんですがCAD動かすとしょっちゅうフリーズしてたのでどのPCでも最低16GBは欲しいです。
	2	PCの性能が分からないが再起動を強いられる場合が多々あった。
	3	数が足りない。
	4	コンピューター実習室のパソコンの調子が悪くろくに使えないことが多かった。
	5	PCが固まってしまう。
	6	パソコンがほとんど壊れていて、壊滅的にボロい。
水沢校	1	パソコン機器が古く満足な実習ができなかった。
	2	PCの反応が遅かったりソリッドワークスを使っていた時フリーズする。
	3	製図のアプリが少し使いずらいため。
	4	デスクトップなのはいいことだと思う。でも、入っているWindowsが古すぎてフリーズしたり、動作が重くなったりして時間がないときに不便だった。
千厩校	1	ノートPCに変えた方が良い。OBDキーボードが古いので更新して欲しい。1/4のユニバーサル等使いにくい。廃品置場を整理して欲しい。
	2	工具に関して無いものがあったり、壊れているものもあるので整備して欲しい。
	3	工具類などで使いたいと思う工具が無いことがあった。
	4	パソコンを使う機会が少なすぎる。
	5	壊れている場所や部品がそのままになっていた。
	6	実習装置が使えなかったり、使わずに置いてあるので改善して欲しい。全体的に出来る範囲で修繕して欲しい。
	7	新しい車種の勉強をしたいのに、似たような車がたくさんあり、電気自動車やハイブリット車の実習が出来なかったように感じた。

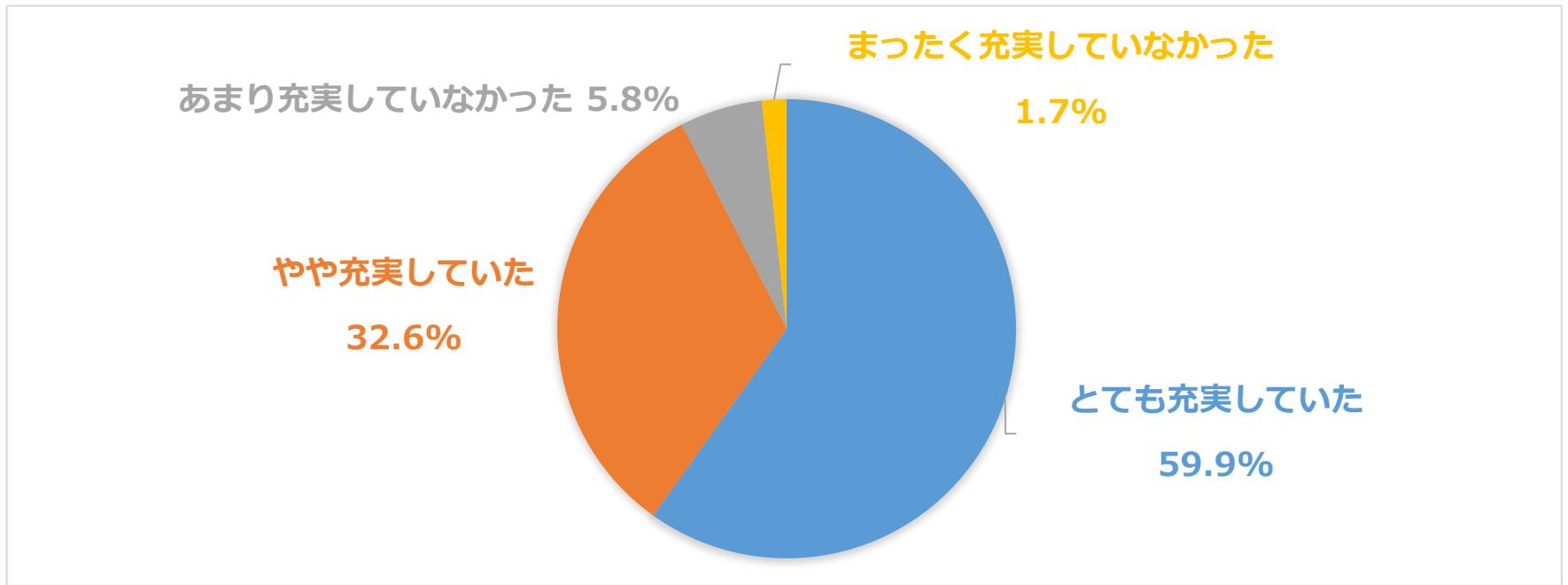
問16 問13（5）で「学生寮など寄宿舎施設の環境（※寮生のみ回答して下さい）」が「3」（どちらかといえば不満）、「4」（不満）と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。

矢巾校	1	夏の暑さが尋常じゃなく命に関わる。(37℃を超える)またネット環境はこの学校の学生に必須であるので最初からつけるべき。
	2	設備（エアコン、ストーブ等）が不便、夏は体調不良になるぐらい暑い お風呂の湯沸かしが故障したまに入浴出来なくなる。
	3	エアコンがない・10時門限が早い。
	4	門限いらぬ。
	5	エアコンをください。エアコンが自室に無いのはつらいです。エアコンをください。
	6	寮規則が少し厳しかった。
水沢校	1	お風呂の更衣室が狭い 虫が沢山出てくる。
	2	騒音を出す生徒がいた。注意されても治らなかった。
	3	部屋で凄くうるさい人がいた。雨漏りをしていた。
千厩校	1	窓の立て付けが悪く、虫が入ってくる。
	2	虫の出現が多い。ドアの立て付けが悪く隙間がある。
	3	古い。
宮古校	1	門限早いこと。
	2	寮なので仕方ないが、共同生活であること。
	3	寮の管理人独自のルールがいくつかあり合わせるのが大変。
二戸校	1	飯の量が少ないししょっぱい。
	2	寮が汚すぎる、1人部屋がいい。

学校生活全般について、気づいた点、要望などがあれば自由に記入してください。

矢巾校	1	もっと障害者向けの就職支援をきちんとして欲しい。
	2	教室が遠い。
	3	学校の廊下が全体的に暗いので明るくした方がいい。
	4	全体的に暗い、寒い。
	5	夏場の実習棟が暑い。冬場は陽が入らない場所が多く寒いと思う。空調設備を充填してほしい。(産業デザイン科使用のデザイン室など)
	6	学校内が暗く心身の影響に害を及ぼす。(主に実験棟)
	7	とてもいい環境で勉強させていただけました。ありがとうございました。
	8	学生のためにもっと活動してほしいと感じた。
	9	サークルに対しての対応が雑な気がします。サークルも学生生活において大切な活動なのでもう少し目を配ってくれると嬉しいです。コロナの影響で活動が難しいことはわかりますがもう少し活動したかったです。
	10	エアコンをください。学校にもボイラーであったためお湯で風を温風に変えてるところがあります。それも年期入ってほぼ動かないです。エアコンをください。
水沢校	1	先生があまり意欲的に取り組んでいない。
	2	自販機(飲料・食品)を増やしてほしい。
	3	授業の偏りがあった。
	4	パソコンを新しいバージョンにした方が良いと思う。
	5	時間が足りなかった。
	6	あまりパソコンを使うイメージが無かったが、2年生に入るとパソコン作業が多く、入学前と入学後でギャップを感じた。家にパソコンを使える環境が無かったため、入学前にパソコン作業が多いことを知りたかった。
	7	一人一台学校指定のノートパソコンを準備できるようにした方がレポートなどの提出期限を守る人が増えると思う。
	8	実習棟とかにできれば暖房を増やして欲しいです。
	9	特になし。
千厩校	1	担当の先生が忙しく模擬テストの口述を終わることが出来ない。HV車をもっと触りたかった。
	2	敷地内が広く油庫が遠い。実習場の裏側が雨や雪でぬかるので舗装して欲しい。手洗い場にお湯が欲しい。教室の床に剥がれがあるので直して欲しい。
	3	職員室に入ったとき返事をしてくれない職員がいた。
	4	建物全体を綺麗にして欲しい。女子トイレの場所が少ない(遠い)。
	5	1年生と2年生で掃除分担すると片方に負荷がかかるので変えた方が良い。
	6	シャワーの時間を延ばして欲しかった。賄いがおいしくなかった。
宮古校	1	特に不自由なく実習作業ができたので良かった。
	2	自分の行動と発言には責任を持つことが大事。
	3	新しい技術をもっと近くで見て、新しい車があるならば、実習でシステム構造、メンテナンス整備について考えて、作業をする時間があるとよいと思う。ベース知識からさらに発展させ、考える力をつけるいいチャンスになると思う。
	4	ワイヤー放電加工機が冬期間に凍ってしまうため、水抜き等をしなくてもよい装置が欲しかった。
	5	マシニングセンタでの加工の時に、切削液がいろいろなところに飛ぶのが大変だった。
	6	実習棟の窓拭きが大変だった。

問17 本校に入学してから、これまでを振り返ってみて、学生生活は充実していましたか。また、その理由は何ですか。



矢 巾 校	1	最終的には楽しかったから。
	2	丁寧に教えてもらえたしいろいろ手厚かった。
	3	改めて自分の向き、不向きが分かったから。
	4	就職できたから。
	5	様々な知識が実験を通して身に付いた。
	6	分からないことは教え合いながら、比較的充実した生活は送れていたと思う。
	7	2年間という短い時間でも、建築の様々な分野を見ることが出来た。
	8	建築についてたくさん学ぶことができた。 欲しかった資格を取ることができた。
	9	先生たちが今までに通ってきた学校の中で1番良かったし同じクラスになったみんなとの生活が毎日楽しかったから。
	10	学生イベントが楽しかった。
	11	沢山のことを学ぶことができ、就職へつなげることができた。
	12	色んな意味で学びが多かったから。
	13	とても楽しい2年間だったから。 このクラスと離れるのが寂しいと感じるくらいいいクラスだった。
	14	この2年間で自分が変わった気がするから。
	15	実技が多く授業内容が充実していたため。
	16	やりたいことが沢山できた。2年は短く感じた。
	17	入学したことで色々経験させて頂いたり、考え方を身につけたりと、入学前に比べだいぶ成長が出来たと思う。あっという間の2年間だったけど、良いクラスメイトにも出会えたり、優しい先生方にも会うことができ良かった。
	18	専門科目の学習については満足している。 1年次の一般科目で満足できない授業内容のものがあつた。(特に経済学の話や資料が分かりにくい内容だった) また、一部施設の空調にも不満があつたが、それ以外は充実しており、大きな難はなく学生生活を送れた。
	19	とても忙しかったが、知識や技術だけでなく考え方や人とのコミュニケーションなど様々なことを学べたから。
	20	やりたいことをもう少しやれば良かった。
	21	途中で就職活動に失敗し心身を壊した。
	22	設備がとても整っていた。
	23	環境や先生の教え方が自分に合っていたから。
	24	自分のペースで学習できたり、自由時間がそれなりにあつたので興味を持った分野のことを学校で習うこと以外にも取り組める。

問17 本校に入学してから、これまでを振り返ってみて、学生生活は充実していましたか。また、その理由は何ですか。

矢巾校	25	メリハリのある先生方で、学習をするときは真面目に、行事では一緒に楽しんでくださいました。
	26	授業カリキュラムに加えて、資格勉強やロボコンが充実していた。サークル活動も活発で毎週楽しみだった。
	27	スキルを伸ばすことができ、友人にも恵まれていて楽しかったから。
	28	クラスや学校の仲間たちに恵まれとても楽しい生活が送れた。
	29	クラスの雰囲気よかった。サークル活動もできた。
	30	先生方との距離感が近く普段の授業はもちろん授業以外でも話すことが多くとてもかわりやすく楽しかった。また、個人的に科関係なく、いろいろな人と関わりを持つことができてよかった。
	31	勉強などはしっかりできたし、イベントもそこそこ楽しめた。事務室の対応に柔軟性がなく、活動が納得できないまま制限されたのが非常に腹立たしい。
	32	環境が整えられていたから。
	33	また学生として勉強する機会が来ると思ってなかった。やりたいことに自分のペースで取り組むことができた。
	34	最初はイヤイヤだったけどなんだかんだここで出来た友人とどんちゃん騒ぎ出来たのでよかったなって。
	35	先生方や友人のおかげもあって勉学、私生活ともに充実していた。
	36	友人関係が充実したから。
	1	たくさんの技術を習得できた。
	2	学校生活、就活、技能五輪などなど。
	3	学生らしく居残り勉強や、いろいろな資格を取ることができたからです。しかし、サークル活動などがあれば更に良いと思いました。
	4	就職活動においては、先生方が熱くサポートしてくださり、スムーズに活動を行えたから。また、若年者ロボットソフト組み込みの大会に出場し、様々な経験が出来たから。初めての広島街も堪能できたから。授業においても、積極的に取り組めた。
	5	新しいことをたくさん学べた。
	6	学ぶことが多く追いつけないほど忙しかったから。
	7	学ぶことが様々で忙しいけれど自分の力になったから。
	8	短い期間で沢山の事を学べたため。
	9	社会に出るためのいい勉強になったから。
	10	学びたい分野を学ぶことができた。
	11	忙しく、学習面では充実していたが、学生らしいことがあまりできなかった。
	12	分かっているふりをして理解をしないことが多かった。座学から学び、現象を目の前にして考えることで理解が深まった。様々な出会いや経験をすることができた。第一希望の企業に就職することはできなかったが、産技短で勉強できて非常に満足している。
	13	学ぶものが多く忙しく、楽しく過ごせた。
	14	実験実習を通して座学だけでは理解しきれなかったことが実際にやってみることで理解できたから。
	15	つらいこととかたくさんあったけど、友人や自分のいる科に限らず他の科の先生が話しかけてくださって楽しかった。
	16	本校での授業内容は、学科ではたくさんを学べ、また実習では応用だけでなく基礎から詳しく知ることができたため。
	17	いろいろな資格取得をすることができた。

問17 本校に入学してから、これまでを振り返ってみて、学生生活は充実していましたか。また、その理由は何ですか。

千 厩 校	1	自分の足りない知識を補えた。トラック等整備できなかつたのが心残り。
	2	楽しかった。勉強が苦手だったので大変だった。
	3	前半は他の人と話す機会が少なかったが後半でだんだん増え勉強共に楽しかった。
	4	友達が増えた。
	5	もう少し時間を守った生活をしたかった。時間に厳しい面とルーズな面があった。
	6	クラス内の空気が比較的良かった。
	7	楽しかった。
	8	自動車整備士について、よく学ぶことが出来た。
	9	人間関係が上手くいかなかった。
	10	ところどころ不満はあったが皆と楽しく学校生活を送れたので良かった。車について色々と学べて良かった。
	11	授業内容に不満があった。同じようなことを何回もやったり色々なことを学ぶこともできたが、他にも出来ることがあったのではないかと思った。
宮 古 校	1	友達を作れたため。
	2	人間関係では充実していたが、学校生活ではあまり充実しなかった。
	3	少しでも成長できた部分があると思うので。
	4	自分のやりたいことをやらせてもらったから。
	5	テストの結果として表れていたから。
	6	様々な出会いと経験ができた。
	7	二年間が長いようで短く感じ、二年間を通して先輩、同級生、後輩との関係や勉学や学校環境がとても良く、とても充実していました。
	8	細かいところまで教えていただきました。
	9	座学と実習どちらも多くの事を学べていたため。
	10	1年で金型を製作できる技術を身につけるので、学ぶことが多かったから。
	11	知識ゼロから、色々な資格や技能を身につけられたので良かった。1年課程なのもとても良いと思った。
	12	企業に就職するために必要な技術やマナーを学ぶことができたから。
	13	普通校からでも、勉強についていけたから。
	14	就職したから。
二 戸 校	1	分からないことが分かるようになったため。
	2	成長できたから。
	3	学びたいことを学ぶことが出来たし、先生方と学生の間関係や雰囲気良かったから。
	4	人間関係がとても良かったから。
	5	放課後に過去の作品を作れる。
	6	資格をいろいろ取れた賞も入れた。

第11次岩手県職業能力開発計画の令和4年度実績及び令和5年度取組計画

目標一覧 (目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満)

1 産業構造・社会環境の変化を踏まえた職業能力開発の推進				
【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
IT分野の在職者訓練の修了者数(県実施分)	167人	121人	200人	A
在職者訓練の修了者数(県実施分)	1,880人	1,591人	1728人	B
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	343人 87.2%	274人 87.2%	345名 81.9%	A B
離職者等再就職訓練等の就職率(県委託訓練分)	80.0%	80.7%	76.5%	B
2 全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発の推進				
【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
障がい者委託訓練受講者数	26人	21人	19人	C
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率【再掲】	343人 87.2%			
離職者等再就職訓練等の就職率(県委託訓練分)【再掲】	80.0%			
3 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進				
【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
技能検定受検合格者数	1,345人	1,172人	854人	C
在職者訓練の修了者数(県実施分)【再掲】	1,880人			
4 技能継承の促進				
【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
技能五輪全国大会の出場者数	30人	13人	13人	C
技能検定受検合格者数【再掲】	1,345人			
5 職業能力開発施設等における産業人材の育成の推進				
【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率	81.2%	83.6%	83.7%	A
在職者訓練の修了者数(県実施分)【再掲】	1,880人			

第11次岩手県職業能力開発計画の令和4年度実績及び令和5年度取組計画

職業能力開発の基本的施策		進捗状況			担当
1 産業構造・社会環境の変化を踏まえた職業能力開発の推進		令和4年度取組計画	令和4年度実績	令和5年度取組計画	
(1) IT人材の育成強化	① IT分野における在職者訓練の拡充〔県、認定職業訓練団体、機構〕	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野における在職者訓練の実施 実施計画数：21コース、220人 (前年比：3コース増、40人増) <p>【認定職業訓練団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者のニーズを捉えながら、IT分野の訓練の導入を検討 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（DX対応コース）の実施 実施計画数：60名【新規】 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野における在職者訓練 実施数：22コース開講、207人受講 (2コース追加、1コース中止) <p>【認定職業訓練団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野訓練 32コース実施 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上支援訓練（DX対応コース）の実施 110名実施【新規】 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を見直し新規にRPAコース計画 実施計画数：21コース、230人 <p>【認定職業訓練団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業者のニーズを捉えながら、IT分野の訓練の導入を検討するとともに、認定職業訓練施設事務局長会議等において、導入の働きかけを実施。 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（DX対応コース）の実施 実施計画数：100名（前年比：40名増） 	県/機構
	② IT分野における離職者等再就職訓練の拡充〔県〕 〔機構〕	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野の離職者等再就職訓練の実施 実施計画数：18コース、219名 (前年比：3コース減、49名減) ※実施にあたり定員増等を奨励 ※新たにIT資格取得コース（6カ月）を設定 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> ITスキルや基礎的なITリテラシー等の習得に資する訓練を組み込んだ訓練コースを設定 	<p>【県】</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施コース数 18コース 実施定員数 234名 受講者数 219名 就職率 81.1% (令和5年4月30日現在) <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会人として必要なビジネススキルとして、ITスキルや基礎的なITリテラシー等の習得に資する訓練を組み込んだ訓練コースの実施 30名の定員を設定 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施計画数 20コース、255名 (前年比2コース増、36名増) <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ITスキルや基礎的なITリテラシー等の習得に資する訓練を組み込んだ訓練コースを設定 	県/機構
	③ 新技術に対応した職業訓練プログラムの開発・実施〔機構〕	<p>第4次産業革命の進展に対応したカリキュラムを取り入れた訓練の実施</p> <p>〔主な訓練内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計者CAEを活用した構造解析（在職者訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> 設計者CAEを活用した構造解析（在職者訓練）の実施（受講者1名） 	<ul style="list-style-type: none"> DXの進展に対応したカリキュラムを取り入れた訓練の実施 <p>〔主な訓練内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 3次元ツールを活用した機械設計実習 PLCによるFAネットワーク構築技術 ARを活用した建築プレゼンテーション技法 	機構
	④ 高度IT人材の育成〔県〕	<ul style="list-style-type: none"> IT企業等向けに、県内IT産業界に不足しているプロジェクトマネージャーの育成 研修定員：16名 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネージャー育成・基礎講座 2022.10.6～7 受講者数：5名 プロジェクトマネージャー育成・応用講座 2022.10.13～14 受講者数：6名 	<ul style="list-style-type: none"> IT企業等向けに、県内IT産業界に不足しているプロジェクトマネージャーの育成 	も自室
	⑤ 県立職業能力開発施設におけるIT分野のカリキュラムの充実〔県〕	<ul style="list-style-type: none"> 学卒者訓練において、指導員の研修等を通じて技術共有を図り、ITを取り入れた実験・実習等訓練を提供 	<ul style="list-style-type: none"> IT系の指導員研修に8名受。講産業技術短大を中心にAI、IoT技術を習得を目指した実習等訓練を展開。高等技術専門校においては就業に必要なITスキルの習得を目指し実習を展開 	<ul style="list-style-type: none"> IT系の指導員研修に6名受講予定。引き続きITスキルの習得を目指す実習などのカリキュラムを展開 	県

(2) ITや新たな技術を活用した職業能力開発等の推進	① デジタル技術等の活用によるオンライン訓練の推進【県】	<ul style="list-style-type: none"> ・県立職業能力開発施設において、オンラインを利用した訓練に係るパソコン等を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業等に対応するためノートパソコンやタブレット、カメラセットなど関係機器を整備 ・電気技術科においてPLCプログラム開発用ノートパソコンを11台整備 ・産業技術短期大学校において情報ネットワークシステムを引き続き整備 ・第4次産業革命に関連した研修を全職業訓練指導員を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設のパソコン等の適切な更新に向けて状況を把握、対応を検討 ・産業技術短期大学校において情報ネットワークシステムを引き続き整備 ・在職者訓練においてオンラインセミナー開講 	県
	② ものづくり分野の新たなIT技術の導入に向けた訓練手法の開発・検証【機構】	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次産業革命に関連した研修を全職業訓練指導員を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次産業革命に関連した研修を全職業訓練指導員を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・DXリテラシーにかかる研修を、令和5年度より3か年計画で全職業訓練指導員を対象に実施 	機構
	③ オンラインを活用したキャリアコンサルティングの推進【国】	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、オンラインによる相談を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成サポートセンターにおいて、オンライン及び対面でのキャリアコンサルティングを実施 キャリア形成サポートセンター岩手 令和5年2月末現在 524件（前年同期比6.9%増） 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインも含めキャリアコンサルティングを推進して行く。（「キャリア形成サポートセンター」は、令和5年度から「キャリア形成・学び直し支援センター」に変更） 	労働局
(3) ものづくり産業人材の育成強化	① 地域ものづくりネットワーク等関係機関との連携による人材育成の強化【県】	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能・技術講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを配置 ・工業高校教員を対象としたアドバンスゼミ、3DCAD入門講習を実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能・技術講習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能・技術講習会の実施 	も自室
	② 企業の高度化や課題解決に資する高度技術者・技能者の育成【県】	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて半導体アカデミー、EVアカデミー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 【いわて半導体アカデミー】 ・大学生向け講義・実習（11回、160名） ・社会人向け工技・実習（18回、286名） 【EV人材育成事業】 ・先端自動車関連技術人材育成事業（高専生・高校生・社会人、8回、24名） ・次世代モビリティハイスクール（高校生、4回、49名） ・次世代モビリティカレッジ（高専生・社会人、12回、130名） ・北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費補助（3社、20名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて半導体アカデミーの開催 ・EV人材育成事業の実施 	も自室
	③ ものづくり企業や産業への理解を深める機会の提供【県】	<ul style="list-style-type: none"> ・工場見学、出前授業、技能・技術講習会の実施 ・生徒や保護者、教員を対象とした講演会や企業ガイダンス等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした工場見学、出前授業、技能・技術講習会を実施 ・保護者、教員を対象とした工場見学、教員を対象とした講演会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした工場見学、出前授業、技能・技術講習会の実施 ・保護者、教員を対象とした工場見学、講演会等の実施 	も自室
	④ ものづくり分野の在職者訓練及び生産性向上支援訓練の実施【機構】	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・生産性向上支援訓練 実施計画数：570名（前年比：30名増） 	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練 67コース 349名実施（前年比：45名増） ・生産性向上支援訓練 967名実施（前年比：10名増） 	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・生産性向上支援訓練 実施計画数：610名（前年比：40名増） 	機構
	⑤ 新技術に対応した職業訓練プログラムの開発・実施【機構】	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 			
	⑥ ものづくり分野の新たなIT技術の導入に向けた訓練手法の開発・検証【機構】	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 			

(4) 企業・業界における人材育成の強化	① ニーズに即した在職者訓練の実施【県】	<p>実施計画数：126コース、2,300人 (前年比：2コース減、25人増)</p> <p>〔企業ニーズを踏まえた主な研修内容〕 ◎ハラスメント対策やメンタルヘルスクエ ◎ITリテラシー向上を目的とした訓練 ・IT人材の育成強化に向けた訓練 等 ※◎は新規</p>	<p>実施数：125コース、定員2,281人、受講者1,827人 (中止5コース、受講者180人増)</p>	<p>在職者訓練 実施計画数：125コース、2,132人 (前年比：1コース減、168人減) ◎労働者の離職防止に関する研修 ◎RPAなどを用いた業務効率化のための研修</p> <p>デジタルリスキリング推進業務の実施（新規） 委託事業として、デジタルツールの利活用技術や業務アプリ開発技術等の習得をセミナー形式、盛岡・奥州の2会場で実施。</p>	県
	② 認定職業訓練の効果的な活用の促進【県】	<p>地場企業の訓練ニーズに対応できるよう、引き続き、認定職業訓練費補助金により、職業訓練法人の運営を支援</p> <p>〔実施計画〕 ・長期訓練生 118名（前年比：4名増） ・短期訓練生2,304名（前年比：45名増）</p>	<p>・長期訓練生 88名 ・短期訓練生 2,137名</p>	<p>・長期訓練生 91名 ・短期訓練生 2,319名</p>	県
	③ 中小企業への実践的な人材育成等の支援【機構】	<p>・在職者訓練を機械、電気・電子及び居住分野に応じ、体系的な人材育成の支援を実施 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・企業の人材育成の相談に基づき、オーダーメイド方式による生産性向上支援訓練の実施 実施計画数：570名（前年比：30名増）</p>	<p>・在職者訓練 67コース 349名実施（前年比：45名増） ・生産性向上支援訓練 967名実施（前年比：10名増）</p>	<p>・在職者訓練を機械、電気・電子及び居住分野に応じ、体系的な人材育成の支援を実施 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・企業の人材育成の相談に基づき、オーダーメイド方式による生産性向上支援訓練の実施 実施計画数：610名（前年比：40名増）</p>	機構
	④ 職業訓練指導員の派遣や施設・設備の貸出し、事業主団体と共同で訓練コースを開発・実施【県・機構】	<p>【県】 ・技能検定対策など、企業等の要望に応じて指導員派遣を実施 ・企業ニーズに沿った指導員とのマッチングを実施</p> <p>【機構】 ・地域への施設有効活用を目的として中小企業等に対し、積極的に職業訓練指導員の派遣及び施設貸与等の支援を実施</p>	<p>【県】 ・指導員講師による在職者訓練の実施、技能検定員に指導員派遣、審査委員として各種競技大会等に従事</p> <p>【機構】 指導員派遣：延べ訓練人員1,573名（前年比：349名増） 施設貸与：延べ利用人員797名（前年比：283名増）</p>	<p>【県】 ・在職者訓練、技能検定委員、競技大会審査委員として引き続き従事</p> <p>【機構】 ・地域への施設有効活用を目的として中小企業等に対し、積極的に職業訓練指導員の派遣及び施設貸与等の支援を実施</p>	県/ 機構
	⑤ 企業におけるキャリアコンサルティングの推進を支援【国】	<p>・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇用型訓練などの支援を実施</p>	<p>・雇用型訓練認定件数 令和4年度 13件（前年度比27.8%減）</p>	<p>・セルフ・キャリアドックや雇用型訓練などを周知を図り企業におけるキャリアコンサルティングの推進を図る。 （「キャリア形成サポートセンター」は、令和5年度から「キャリア形成・学び直し支援センター」に変更）</p>	労働局
	⑥ 職業能力開発推進者に対する研修等を支援【労働局、職業能力開発協会】	<p>【労働局】 ・事業主団体等主催の会議等における助成金の周知・説明に併せて実施</p> <p>〔主な研修内容〕 ・事業内における職業能力開発計画の作成等 ・企業内での従業員に対する職業能力の開発</p>	<p>【労働局】 ・事業主団体等へ助成金の周知を依頼した他、当局が主催し助成金の説明会を実施した。 開催月日 7/19、2/21（前年度開催1回）</p>	<p>【労働局】 ・事業主団体等に引き続き周知を行っていく他、局主催の説明会の実施も検討して行く。</p>	労働局/ 開発協会

(5) 被災地域の復興の着実な推進に向けた職業能力開発の実施	① 岩手職業能力開発促進センター(ポリテクセンター岩手)における離職者訓練の実施【機構】	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度をもって遠野市で実施していた居住系の震災復興訓練が終了。令和3年度より花巻市の実習場に統合し、引き続き被災地域の人材ニーズ等を踏まえた離職者訓練を実施。 実施計画数：4コース、68人（前年比：増減なし） 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施工技術科 4コース、68人（前年比：増減なし）の定員を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地域の人材ニーズ等を踏まえた離職者訓練を実施。 実施計画数：4コース、68人 	機構
	② 被災地域の需要に対応した職業能力開発の実施【県、機構、労働局、認定職業訓練団体等】	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学卒者訓練においては製造業系を、離職者においてはオフィスビジネス系を軸に、被災地域の需要に応じた訓練を実施 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災地域の需要に対応した職業能力開発の支援を実施 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークにおいて被災地域で実施される職業訓練への受講勧奨を積極的に実施 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学卒者訓練において、機械系、電気系、建築系の訓練を実施し、県内就職率は83.7% 離職者訓練において、事務系コースは61コース実施し、受講者数は755名、就職率は74.4% <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災地域の需要を踏まえた離職者訓練、在職者訓練を実施した。 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸所（宮古・釜石・大船渡・久慈）で実施した職業訓練の受講者数 令和4年度 290名（前年度比16.5%増） 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、被災地域の需要を踏まえた離職者訓練、在職者訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、被災地域の需要に応じた訓練を実施。特に離職者訓練においては機構・労働局とアンケートを実施し、ニーズを把握 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、被災地域の需要を踏まえた離職者訓練、在職者訓練を実施 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ハローワークにおいて被災地域で実施される職業訓練への受講勧奨を積極的に実施して行く。

目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度	担当
IT分野の在職者訓練の修了者数（県実施分）	167人	121人	200人	A	県
在職者訓練の修了者数（県実施分）	1,880人	1,591人	1,728人	B	県
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	343人 87.2%	274人 87.2%	345名 81.9%	A B	県
離職者等再就職訓練等の就職率（県委託訓練分）	80.0%	80.7%	76.5%	B	県

2 全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発の推進		令和4年度取組計画	令和4年度実績	令和5年度取組計画	担当
(1) 非正規雇用労働者の職業能力開発	① 企業内キャリアコンサルティングの実施、キャリアパスの整備や職業能力の向上を促進 [国、労働局、県]	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ助成金の活用を図り、非正規雇用労働者の正社員への移行を推進 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自発的な職業能力開発への取組を進めるとともに、キャリアアップが必要な非正規労働者に対して、的確な能力開発機会を提供 	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ助成金を活用して非正規雇用から正規雇用に転換した労働者数 令和4年度 341名（前年度比11.7%減） <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在職者訓練受講による企業内における職業能力の向上 受講者1,827人 	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度の周知を行い、活用促進を図って行く。 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在職者訓練受講による企業内における職業能力の向上 定員2,132人 	労働局/県
	② 短時間訓練コースの設定 [県、労働局、機構]	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非正規雇用労働者等が仕事と訓練受講を両立し易くなるよう弾力的に訓練コースを追加 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非正規雇用労働者等が働きながら訓練を受講できるよう短時間訓練コースを設定し受講を促進 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練による就職氷河期対策及び短期・短時間特例訓練コースの設定 実施計画数：157名（前年比：78名増） 	<p>【県】</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 短時間・短時間コース（1か月） 実施コース数 1コース 定員 15名 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託訓練及び求職者支援訓練において、短時間・短時間訓練を特例措置として設定 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練による就職氷河期対策及び短期・短時間特例訓練コース 310名認定（前年比：70名増） 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託訓練の短時間・短時間訓練については、令和5年度末まで継続するため、弾力的に追加コースを設定。 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託訓練及び求職者支援訓練の短時間・短時間訓練については、令和5年度末まで継続するため、引き続き受講を促進させる。 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練による就職氷河期対策及び短期・短時間特例訓練コースの設定 実施計画数：258名（前年比：101名増） 	県/労働局/機構
	③ 日本版デュアルシステム等による訓練の推進 [県]	<ul style="list-style-type: none"> 実習の効果が有効である医療事務・IT関連分野等を中心に、即戦力となる人材を育成 実施計画数：7コース、105名 （前年比：3コース減、44名減） 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 6コース実施、入校者数61名 	<p>実施計画数 5コース、75名</p>	県/労働局/機構
	④ 求職者支援訓練等の活用 [労働局、機構]	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークにおいて、非正規雇用労働者等へ受講を積極的に促し、就職に向けたきめ細やかな支援を実施 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練の実施 実施計画数：870名（前年比：58名減） 	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開講定員 780名（前年度19.4%増） 受講者数 511名（前年度34.1%増） 充足率 65.5%（前年度7.2P増） <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練 837名認定（前年比：116名増） 	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から受講給付金等の要件が一部緩和されたことを周知し、より一層の活用促進を図って行く。 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者支援訓練の実施 実施計画数：870名（前年比：増減なし） 	労働局/機構
	⑤ 離職者等再就職訓練の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> 離職者の円滑な再就職のため、介護、医療分野など求職者のニーズを踏まえた訓練コースを設定。 実施計画数：128コース、1,550名 （下記②③含む） （前年比：1コース増、16名増） うち介護、医療分野 23コース、定員185名 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施コース数 117コース 定員数 1,414名 受講者数 1,182名 修了者数 646名 就職率 76.5% うち、介護医療分野 実施コース数 22コース 定員数 170名 受講者数 126名 修了者数 67名 就職率 85.9% （令和5年4月30日現在） 	<p>計画コース数 127コース 計画定員数 1,550名 うち、介護、医療分野 24コース、定員191名</p>	県

(2) 女性の職業能力開発	① マザーズハローワーク等でのキャリアコンサルティングの実施 [ハローワーク]	・担当制によるキャリアコンサルティングを計画的に実施	・担当者制支援による新規重点支援対象数1,055名(前年度0.8%増)	・引き続き、担当者制による支援を計画的に進める。	労働局
	② 介護、医療、IT分野での訓練コースの設定、託児サービス付きの訓練及び短時間訓練コースの設定 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、医療、IT分野での訓練コースの設定 [実施計画数] 介護医療分野：23コース、185名(前年比：17名減) IT分野：18コース、219名(前年比：49名減) ・子育て中の女性が受講しやすくなるよう、託児サービス付き訓練コースを設定 実施計画数：14コース、70名(前年比：25名増) 	<p>実績</p> <p>介護医療分野 実施コース数 22コース 定員数 170名 受講者数 126名 修了者数 67名 就職率 85.9%</p> <p>IT分野 実施コース数 18コース 定員数 234名 受講者数 219名 修了者数 115名 就職率 81.1%</p> <p>託児サービス付き訓練コース 実施コース数 14コース 定員数 70名 託児利用者数 7名 託児利用児童数 8名 修了者数 5名 就職率 80.0% (令和5年4月30日現在)</p>	<p>介護医療分野 計画コース数 24コース 計画定員数 191名 (前年比：1コース増、6名増)</p> <p>IT分野 計画コース数 20コース 計画定員数 255名 (前年比：2コース増、36名増)</p> <p>託児サービス付訓練コース 計画コース数 14コース 計画定員数 70名 (前年比：増減なし)</p>	県
	③ 母子家庭の母等への就業相談・就業支援等の実施 [県]	・母子家庭の母等に対して、雇用ニーズに合わせてIT分野をはじめOA系等の訓練コースを設定 実施計画数：11コース 定員105名 (前年比：1コース減、25名減)	実施コース数 11コース 定員 105名 受講者数 0名	計画コース数 7コース 計画定員数 105名 (前年比：4コース減)	県
	④ 女性就業援助事業(技術講習)の実施 [県]	・女性就業機会の拡大を図るため、職業能力開発の機会を提供 実施計画数 ：介護サービス等8コース、定員54名 (前年比：コース増減なし、12名減)	介護サービス、ネイリスト養成等8コース、50名 受講 修了者47名、就職率61.4%	介護サービス、ネイリスト養成、IT基礎等8コース、定員58名	県
(3) 若年者の職業能力開発	① 小中学校及び高校におけるキャリア教育の取組支援 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会(各教育事務所)の開催 ・社会につながるキャリア教育研修講座(岩手県総合教育センター) ・県の機関における高校生インターンシップの実施 ・いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業の実施(内陸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) ・県立学校復興担い手育成支援事業(就職等支援)の実施(沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) 	<ul style="list-style-type: none"> ・5教育事務所を実施。(1教育事務所はR5・6年計画のため設定なし)地域の企業や広域振興局と連携を図り、教員の地域産業の理解を深めることができた。 ・6/6(月)実施 研修者44名。キャリア教育の意義、地域との連携、キャリアパスポート、キャリア教育のカリキュラム・マネジメント、民間企業の人材育成等について理解を深めることができた。 ・8月上旬から10月にかけて、17公所22名で実施 ・県立高校63校で実施。高校と自治体や地元企業・大学等が協働して地域や地域産業の持つ魅力や課題に触れながら探究的に学ぶ機会を共創する魅力ある学校づくりへの取組を支援 ・沿岸部14校で実施。被災地域生徒の就職希望の実現、被災地域の産業を担う人材育成等のため、キャリア教育等の実施(企業訪問・就業体験・進路講話等)、専門科目で習得したスキル向上のための実技講習会、地域伝統技能の継承活動などの 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会(各教育事務所)の開催 ・社会につながるキャリア教育研修講座(岩手県立総合教育センター) ・県の機関における高校生インターンシップの実施 ・いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業(探究共創事業)の実施 ・県立学校復興担い手育成支援事業(就職等支援)の実施(沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) 	教育委員会

<p>② 大学、産業技術短期大学校等職業能力開発施設におけるキャリア教育の取組 [各大学、職業能力開発施設]</p>	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自に作成した「就職活動ロードマップ」を活用し、学生自身で就業力に関する項目の達成度の自己評価を実施 ・多様化するインターンシップについて学生の理解を促すガイダンスを実施 ・基盤教育課程及び各学部専門課程において、キャリア教育科目を開講 <p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内三大学連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）の実施。連携大学内でツールを共有 ・キャリアガイダンスの実施 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講 ・市町村との共催による県内事業所ワイガヤバスミーティングの実施 <p>【職業能力開発施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職講話、インターンシップ、企業等の見学説明会などの継続的な実施 ・オンラインを用いた企業等による業界説明セミナー、就職講話、企業説明の実施 	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス（年2回）において、「就職活動ロードマップ」を活用した就業力に関する項目の達成度の自己評価を実施した。 ・インターンシップガイダンス（5/25）を実施し、インターンシップに対する学生の理解を深めるとともにインターンシップへの参加を促進した。 ・基盤教育科目では「人間と職業」「キャリア地域学習」等、各学部専門課程では「看護キャリア論」「ソーシャルワーク入門」「キャリア・デザイン」等を開講し、キャリアの多様性を理解するとともに社会で活用することを見据えた考え方や具体的なスキルを学んでいる。 <p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携大学内でツールを共有し、岩手県内三大学連携インターンシップ（主幹校：岩手県立大学）を実施した。なかでもCOC+の後継事業である、地域志向型インターンシップでは、県北地域をフィールドとしたインターンシップ実施に加え、「地域志向型インターンシップネットワークinいわて」が主催で、1月16日（月）に情報交換会を実施した。二戸市、葛巻町、岩泉町等の担当者及び大学関係教職員等が出席し、取り組み状況等について報告した。 ・低年次から就職活動対象年次までを対象としたキャリアガイダンスを年間を通じて実施した。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講した。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」を開講した。 ・釜石市との共催で、釜石の地域背景の理解や企業情報習得の機会とすることを目的として、8月3日（水）に「企業見学会in釜石2022」を開催した。 <p>【職業能力開発施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職講話、インターンシップ（延べ202人実施）、企業等の見学説明会などの継続的な実施（産技短企業ガイダンス12/20、21、技専校自動車整備業界ガイダンス1/17、その他就職講話、企業見学等86件他） ・オンラインを用いた企業等による業界説明セミナー、就職講話、企業説明の実施 	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自に作成した「就職活動ロードマップ」を活用し、学生自身で就業力に関する項目の達成度の自己評価を実施 ・多様化するインターンシップについて、学生の理解を促すガイダンスを実施し、本学が主導している「岩手県内三大学連携インターンシップ」への参加を促進する ・基盤教育課程及び各学部専門課程において、キャリア教育科目を継続して開講する。 <p>※岩手県内三大学＝県立大、岩手大、盛岡大</p> <p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内三大学連携インターンシップ（主幹校：岩手県立大学）の実施。連携大学内でツールを共有。 ・低年次から就職活動対象年次までを対象としたキャリアガイダンスを実施する。 ・岩手県立大学と共催でキャリア教育科目「地場産業・企業論」を開講する。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講する。 ・県内事業所ワイガヤバスミーティングを市町村等との共催により実施する。 <p>【職業能力開発施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職講話、インターンシップ、企業等の見学説明会などの継続的な実施 ・オンラインを用いた企業等による業界説明セミナー、就職講話、企業説明の実施 	<p>県立大/ 岩手大/ 県</p>
<p>③ 「ものづくりマイスター」の活用 [国]</p>	<p>【職業能力開発協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な技能と長年の実務経験が有り、技能の指導ができる専門家「ものづくりマイスター」を中小企業や工業高校、イベント会場等へ派遣し、若年技能者への指導を実施 	<p>【職業能力開発協会】</p> <p>「ものづくりマイスター」による指導実績 723人日</p>	<p>【職業能力開発協会】</p> <p>「ものづくりマイスター」による指導目標 1,200人日</p>	<p>労働局/ 開発協会</p>
<p>④ 学校等関係機関との連携による支援 [県、国、関係市]（地域若者サポートステーション支援）</p>	<p>・就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職者数 219人 <ul style="list-style-type: none"> うち盛岡 109人 うち宮古 25人 うち一関 85人 ・新規登録者数 328人 <ul style="list-style-type: none"> うち盛岡 197人 うち宮古 41人 うち一関 90人 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施。 	<p>県</p>

	⑤ セルフキャリアドックやオンラインを活用したキャリアコンサルティングの確保【国】	・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇用型訓練などの支援を推進	・雇用型訓練認定件数 令和4年度 13件（前年度比27.8%減）	・セルフ・キャリアドックや雇用型訓練などを周知を図り企業におけるキャリアコンサルティングの推進を図る。 （「キャリア形成サポートセンター」は、令和5年度から「キャリア形成・学び直し支援センター」に変更）	労働局
	⑥ 日本版デュアルシステム等による訓練の推進【県】 【再掲】				
	⑦ ジョブカフェによる就業支援【県】	・相談対応やキャリアカウンセリング ・セミナーや各種イベント等の開催 ・県内企業等の情報提供等	・ジョブカフェいわて利用者数：44,758人 就職決定者数：1,106人 ・キャリアカウンセリング件数：2,793件	引き続き、相談対応やキャリアカウンセリングを実施するとともに、セミナーや各種イベントを開催することで県内企業等の情報周知を実施。	県
	⑧ 就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就業・キャリア教育支援【県】	・各広域振興局振興等に就業支援員及び県内就業キャリア教育コーディネーターを配置し、就職を希望する高校生への就職支援や、進学校の高校生、大学生等に対する進学後の県内就職促進に係るキャリア教育支援を実施	・就業支援員及び県内就業・キャリア教育コーディネーターの配置：34人 ・新卒者等雇用事業所への訪問等による早期離職防止支援件数：1,591件 ・県内産業や企業への理解を深める機会を持った高等学校数：76校	引き続き、就業支援員及び県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就職支援やキャリア教育支援を実施。	県
(4) 中高年齢者の職業能力開発	① セルフ・キャリアドックの推進【国】	・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）においてジョブカードを活用したキャリア形成支援を推進	・キャリア形成サポートセンターにおいて、キャリアコンサルティングを実施 キャリア形成サポートセンター岩手 令和5年2月末現在 524件（前年同期比6.9%増）	・引き続き、キャリア形成支援を推進して行く。（「キャリア形成サポートセンター」は、令和5年度から「キャリア形成・学び直し支援センター」に変更）	労働局
	② 高齢者の継続雇用の実現に向けて、中高年齢者が身につけておくべき能力の習得に資する訓練コースを提供【機構】	・民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）を実施 実施計画数：40名（前年比：増減なし）	・生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）の実施 74名実施（前年比：増減なし）	・民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）を実施 実施計画数：40名（前年比：増減なし）	機構
	③ 生涯現役支援窓口における求人情報の提供や各種ガイダンスの実施【ハローワーク】	・生涯現役支援窓口をハローワーク盛岡・一関・水沢に設置し、求人情報の提供や各種セミナーを実施	・生涯現役支援窓口事業実施件数 相談件数 2,822件（前年度比1.3%増） 再就職ガイダンス 受講者数 226名（前年度比89.9%増）	・引き続き、生涯現役支援窓口を設置し、就職支援を実施して行く。	労働局
(5) 障がい者の職業能力開発	① 障がい者の多様なニーズに対応した委託訓練の実施【県】	・県内企業・社会福祉法人等の多様な委託先を活用して、障がい者の適性等及び障がい者雇用ニーズに対応した訓練を実施 実施計画数：36名（前年比：1名増）	・受講者数：19名 ・修了者数：18名 ・就職者数：5名（R5.4月末現在暫定値） ・就職率：27.8%（R5.4月末現在暫定値）	・引き続き、県内企業・社会福祉法人等の多様な委託先を活用して、障がい者の適性等及び障がい者雇用ニーズに対応した訓練を実施。 実施計画数：30名（前年比：6名減）	県
	② 施設のバリアフリー化の推進、精神保健福祉士等の配置等により環境を整備【県、機構】	【県】 ・施設のバリアフリー、ユニバーサルデザインの状況、精神保健福祉士等の配置・必要性について調査 【機構】 ・障がい者が入校しやすい環境に配慮した整備を実施	【県】 ・県立職業能力開発施設における精神保健福祉士等による相談支援の実施 ・県立職業能力開発施設エアコン設置状況調査の実施 【機構】 ・安全衛生会議にてバリアフリー等の環境整備について検討を行った。	【県】 ・現状の維持管理、維持修繕・改修を優先しながらもバリアフリー、ユニバーサルデザインの必要性について検討 【機構】 ・障がい者が入校しやすい環境に配慮した整備を実施	県/ 機構
	③ 関係機関との連携の強化【県、ハローワーク、関係団体】	・平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を実施	平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を3回実施 研修参加者 6名	引き続き、平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を実施。	県
	④ アビリンピック（全国障害者技能競技大会）の実施【国】	障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催 〔開催計画〕 ・開催日：11月4日～6日 ・場 所：幕張メッセ ・競技種目：技能競技 25種目 ※R3は、本県から9種目10名が出場	・第42回全国アビリンピック 参加選手数 8名 入賞者 3名	・障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催 〔開催計画〕 ・開催日：11月17日～19日 ・場 所：愛知県国際展示場 ・競技種目：技能競技 25種目	労働局

<p>⑤ 岩手県障がい者技能競技大会の開催 [県、機構]</p>	<p>障がい者の職業能力の向上と雇用の促進を図るため、開催</p> <p>〔開催計画〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：7月30日 ・開催場所：産業技術短期大学校矢巾校 ・競技種目数：12種目（いわてオリジナル種目2種目） ・備考：県大会併催イベントとして、「事業所向け障がい者雇用促進セミナー」を実施予定 <p>※R3は、11種目実施。43名参加</p>	<p>障がい者の職業能力の向上と雇用の促進を図るため、開催</p> <p>〔開催計画〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：7月30日 ・開催場所：産業技術短期大学校矢巾校 ・競技種目数：10種目（いわてオリジナル種目1種目） ・参加選手：40名 ・備考：県大会併催イベントとして、「事業所向け障がい者雇用促進セミナー」を実施 	<p>障がい者の職業能力の向上と雇用の促進を図るため、開催</p> <p>〔開催計画〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：7月29日 ・開催場所：産業技術短期大学校矢巾校 ・競技種目数：12種目（いわてオリジナル種目2種目） ・備考：県大会併催イベントとして、「事業所向け障がい者雇用促進セミナー」を実施予定 <p>※R4は、10種目実施。40名参加</p>	<p>県</p>
----------------------------------	---	---	---	----------

(6) 就職氷河期世代や外国人労働者に対する支援	① いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームによる関係団体連携による支援[労働局、県、東北経済産業局、市町村、関係団体]	・いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを開催し、構成団体の各事業に係る情報交換等を実施	いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを2回開催。 第1回：令和4年6月27日(月)【対面】 第2回：令和5年3月下旬【書面開催】	引き続き、いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを開催し、構成団体の各事業に係る情報交換等を実施。	県
	② 短期資格等習得コース事業の推進、求職者支援制度、人材開発支援助成金等による支援【国】	・短期資格等習得コース、求職者支援訓練、各種助成金の活用により支援を実施	・短期資格等習得コースの実施や、委託訓練及び求職者支援訓練において、短期間・短時間コースを特例措置として設定する他、特定求職者雇用開発助成金等を活用し支援を実施する。	・委託訓練及び求職者支援訓練の短時間・短時間訓練については、令和5年度末まで継続する。特定求職者雇用開発助成金については、令和4年12月から一部改正があったため、周知及び活用促進を図る。	労働局
	③ e-ラーニング講座や企業向けセミナー等の実施【県】	・ジョブカフェいわての開館時間延長 ・e-ラーニング講座の実施 ・キャリアアップセミナーの実施 ・職場見学会の実施 ・企業向けセミナーの実施 ・企業面談会の実施	・ジョブカフェいわての開館時間延長：120人利用 ・e-ラーニング講座の実施：84コース45人参加 ・キャリアアップセミナーの実施：14回73人参加 ・職場見学会の実施：6回30人参加(当日参加19人、動画視聴11人) ・企業向けセミナーの実施：3回118人参加 ・企業面談会の実施：3回17人参加	引き続き、企業向けセミナー及びe-ラーニング講座を実施するとともに、職場見学動画を作成することにより、県内企業と就職氷河期世代とのマッチング支援を実施。	県
	④ 地域若者サポートステーションによる支援【国、関係市】	・就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施	・就職者数 219人 うち盛岡 109人 うち宮古 25人 うち一関 85人 ・新規登録者数 328人 うち盛岡 197人 うち宮古 41人 うち一関 90人	引き続き、就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施	県
	⑤ 外国人材の就職等に精通したキャリアコンサルタントの育成【国】	・外国人のキャリア支援に携わるキャリアコンサルタントを育成するため「外国人支援のためのキャリアコンサルタント向け研修」(厚生労働本省委託事業)を実施	・「中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリアコンサルタント向け研修」サイト内に、「外国人支援のためのキャリアコンサルタント向け研修」を設置し、オンラインで受講可能な研修を提供している。	引き続き、キャリアコンサルタントの育成を実施して行く。	労働局
	⑥ 定住外国人に対して、その日本語能力等に配慮した職業訓練を実施【国】	・今後、ニーズを捉えながら、関係団体等と連携のうえ、実施内容について検討	・日本語の理解に問題がない定住外国人については、資格要件に応じ訓練の受講あっせんを行っているが、日本語能力が低く、通常の職業訓練が困難な方を対象にした訓練については設定していない。	今後、ニーズを捉えながら、関係団体等と連携のうえ、実施について検討していく。	労働局

目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
障がい者委託訓練受講者数	26人	21人	19人	C
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率【再掲】	343人 87.2%			
離職者等再就職訓練等の就職率(県委託訓練分)【再掲】	80.0%			

担当
県
県
県

3 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進		令和4年度の取組計画	令和4年度実績	令和5年度の取組計画	担当
(1) キャリアコンサルティングの推進	① 企業へのセルフ・キャリアドックの導入支援や、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの環境の整備 [国]	・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇用型訓練などの支援を推進	・雇用型訓練認定件数 令和4年度 13件（前年度比27.8%減）	・セルフ・キャリアドックや雇用型訓練などを周知を図り企業におけるキャリアコンサルティングの推進を図る。 （「キャリア形成サポートセンター」は、令和5年度から「キャリア形成・学び直し支援センター」に変更）	労働局
	② キャリアコンサルタントに必要な知識・能力の習得や専門家等とのネットワーク作りを促進 [労働局、県]	・キャリアコンサルタントに、登録に必要な講習や専門研修の受講機会を提供	・「中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリアコンサルタント向け研修」サイト内に、IT分野の能力開発や中高年齢者等の支援対象別のキャリアコンサルタント向け研修を設置し、オンラインで受講可能な研修を提供している。	・引き続き、キャリアコンサルタントの育成を実施して行く。	労働局
	③ オンラインを活用したキャリアコンサルティングを推進 [国] 【再掲】				
	④ ジョブカフェによる就業支援 [県] 【再掲】				
	⑤ 就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就業・キャリア教育支援 [県] 【再掲】				
(2) 自律的・主体的な学びの支援	① 教育訓練給付の対象講座の充実 [国]	・働きながら学びやすくする観点から、オンライン講座や夜間、土日の講座などを充実	・教育訓練給付の対象講座の拡充を図るために設定された、令和4年12月～令和5年1月の「特別申請期間」について、岩手県地域職業能力開発促進協議会の参加団体に周知協力依頼を行った他、公共職業訓練等の実施機関への周知を実施した。	・引き続き、対象講座の充実に向けて、教育訓練実施者に対し教育訓練給付制度の周知を行っていく。	労働局
	② 教育訓練休暇や教育訓練短時間勤務制度の普及を促進 [国]	・人材開発支援助成金を活用した普及の促進	・人材開発支援助成金（教育訓練休暇等制度）計画届受理件数 令和4年度 8件（前年度比60.0%減）	・人材開発支援助成金を活用した普及の促進を行っていく。	労働局
	③ 社内公募制やフリーエージェント制等の制度の普及促進 [国]	・厚生労働本省で実施（グッドキャリア企業アワード等）	・従業員の自律的なキャリア形成支援についての模範となる取組を行っている企業等を表彰し、その取組内容、具体的な効果等を広く普及することにより、キャリア形成支援の重要性を広め、定着を期することを目的に、「グッドキャリア企業アワード」を実施している。	・表彰された各企業の取組内容や具体的な効果等を広く発信、普及することにより、キャリア形成支援の重要性を広めるよう周知を行っていく。	労働局
	④ 学び直しに対応した在職者訓練等の充実 [県]	学び直しに対応した在職者訓練等の充実 〔主な内容〕 ・ITリテラシー向上等を目的とした訓練 実施計画数：4コース、50名【新規】 ・資格取得関連コース 実施計画数：23コース、345名 （前年比：1コース減、60名増）	学び直しに対応した在職者訓練等の充実 〔主な内容〕 ・ITリテラシー向上等を目的とした訓練 実施計画数：4コース、受講32【新規】 ・資格取得関連コース 実施計画数：23コース、受講251	学び直しに対応した在職者訓練等の充実〔主な内容〕 ・ITリテラシー向上等を目的とした訓練 実施計画数：4コース、受講32【新規】 ・資格取得関連コース 実施計画数：23コース、受講251 デジタルリスキリング推進業務の実施（新規）委託事業として、デジタルツールの利活用技術や業務アプリ開発技術等の習得をセミナー形式、盛岡・奥州の2会場で実施。	県
	⑤ 人材開発支援助成金の活用の促進 [国]	・事業主団体等主催の会議等にて、本助成金を周知・説明	【労働局】 ・事業主団体等へ助成金の周知を依頼した他、当局が主催し助成金等の説明会を実施した。 開催月日 7/19、2/21（前年度開催1回）	【労働局】 ・事業主団体等に引き続き周知を行っていく他、局主催の説明会の実施も検討して行く。	労働局

	⑥ 技能検定の活用の促進 [県、職業能力開発協会]	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携し、技能検定制度の周知を図るとともに、学生や若年者の積極的な受検を喚起 ・技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験受検者数 1,499名（うち高校生346名） ・随時試験受検者数 672名（外国人技能実習生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携し、技能検定制度の周知を図るとともに、学生や若年者の積極的な受検を喚起 ・技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力 	県/ 開発協会
--	---------------------------	---	---	---	------------

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
技能検定受検合格者数	1,345人	1,172人	854人	C
在職者訓練の修了者数(県実施分) 【再掲】	1,880人			

担当
県

4 技能継承の促進	令和4年度取組計画	令和4年度実績	令和5年度取組計画	担当
(1) 技能の継承・発展	<p>① 若年者のものづくり分野への積極的な誘導の推進とデジタル技術を活用した技能継承の取組の普及【国、県】</p> <p>② 技能競技大会等の実施により、若年者に対する技能の重要性、魅力を発信【国、県、職業能力開発協会】</p> <p>③ 技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加促進【県、職業能力開発協会】</p>	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働本省で実施（若年技能者人材育成支援等事業等） <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり体験イベント等地域における技能振興の取組等を通じて若年者のものづくり分野への積極的な誘導を推進 ・視点カメラを取り入れた実習指導など、新しいデジタル技術を活用した技能継承の取組事例を捉えながら取組を拡充 <p>関係団体と連携し、技能競技大会の周知・実施を通じ、学生等を含む若年者に対する技能の重要性・魅力を発信</p> <p>〔R4主な大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会 11月4日～7日（千葉県）（岩手県地方予選大会（技能検定国家試験と同時開催）） ・若年者ものづくり競技大会 7月27日～28日（広島県） ・岩手県若年者技能競技会 11月22日（岩手産業文化センター） <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会 11月4日～7日（千葉県） ・本県出場選手：技能五輪9職種（13名）、アピリンピック8職種（8名） ・成績：7職種8名入賞 （岩手県地方予選大会（技能検定国家試験と同時開催）80名） ・若年者ものづくり競技大会 7月27日～28日（広島県） ・本県出場選手：8職種13名 ・成績：4職種5名入賞 ・岩手県若年者技能競技会 11月22日（岩手産業文化センター） ・認定高等職業訓練校13校、県立職業能力開発施設4校から127名参加 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会参加者：9職種13名 ・若年者ものづくり競技大会参加者：8職種13名 <p>【職業能力開発協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会参加支援 旅費11名、工具運搬費6名 ・若年者ものづくり競技大会参加支援 旅費12名、工具運搬費5名 	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「ものづくりマイスター制度」を実施し、技能者の育成を図る。 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自主イベントの開催や地域イベント等の参加し、ものづくり分野への誘導を推進。 ・引き続き、デジタル技術を活用し技能継承に取組む。 <p>関係団体と連携し、技能競技大会の周知・実施を通じ、学生等を含む若年者に対する技能の重要性・魅力を発信</p> <p>〔R5主な大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会 11月17日～21日（愛知県）（岩手県地方予選大会（技能検定国家試験と同時開催）） ・若年者ものづくり競技大会 8月1日～2日（静岡県） ・岩手県若年者技能競技会 11月8日（岩手産業文化センター） <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会の周知と積極的な参加の促進 <p>【職業能力開発協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大会への参加支援予定 ・技能五輪全国大会（15名予定） ・若年者ものづくり競技大会（13名予定） 	<p>労働局/県</p> <p>県</p> <p>県</p>
(2) 技能尊重気運の醸成	<p>① 卓越技能者表彰（現代の名工）や技能五輪全国大会等の技能競技大会の実施【国】</p> <p>② 岩手県卓越技能者表彰の実施【県】</p>	<p>・卓越技能者表彰（現代の名工）技能者の地位及び技能水準の向上を図ることを目的として実施</p> <p>被表彰者数：毎年、概ね150名（これまで本県では76名が受賞）</p> <p>・技能五輪全国大会</p> <p>技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施</p> <p>〔開催計画〕</p> <p>実施日：11月4日～7日</p> <p>場所：幕張メッセ</p> <p>競技職種：42職種</p> <p>※R3は、本県から8職種13名が出場</p> <p>被表彰者数 19名</p> <p>卓越技能者 8名</p> <p>青年卓越技能者 11名</p>	<p>・卓越技能者表彰（現代の名工）引き続き、技能者の地位及び技能水準の向上を図るため候補者の選定に取組</p> <p>・技能五輪全国大会（再掲）11月17日～21日（愛知県）</p> <p>技能者の地位と技能水準向上を図るため、岩手県卓越技能者表彰を実施</p> <p>被表彰者数：毎年、概ね17名（R4年度まで卓越技能者358名、青年卓越技能者238名（R4はそれぞれ8名、11名）を表彰）</p>	<p>県</p> <p>県</p>

目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度
技能五輪全国大会の出場者数	30人	13人	13人	C
技能検定受検合格者数【再掲】	1,345人	人		

担当
県

5 職業能力開発施設等における産業人材の育成の推進		令和4年度の取組計画	令和4年度実績	令和5年度の取組計画	担当
(1) 県立職業能力開発施設	① 学科・定員の必要に応じた見直し【県】	・定員充足率や企業の人材ニーズ、民間職業訓練、工業系などの高校の生徒数の状況等を含め、学科・定員について必要に応じて見直しを実施	学科構成：変更なし 定員：変更なし	社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、検討を行う。	県
	② カリキュラムの充実【県】	・高度化・多様化する産業を支える人材育成に向け、学生や卒業生による授業評価等を通じてカリキュラムの充実を図り、さらにデジタル技術等の進展に対応した授業構成を推進 〔主な取組内容〕 ・デジタル技術を用いた最先端技術の紹介見学等	・学生生活の充実、やや充実が80% ・情報系を中心にデジタル技術等の進展に対応し、IoTプラットフォームを取り入れた授業を展開。機械系・建築系においても、情報系科目を通して、技術習得を図った。 ・企業への見学については実施が難しかったが、インターンシップは実施できた。	・引き続き、学生の期待に応える取組 ・トレンドを見極め、デジタルの進展に対応した授業を構成 ・企業見学の再開、インターンシップの実施	県
	③ 在職者訓練の充実【県】	実施計画数：126コース、2,300人 (前年比：2コース減、25人増) 〔企業ニーズを踏まえた主な研修内容〕 ◎ハラスメント対策やメンタルヘルスケア ◎ITリテラシー向上を目的とした訓練 ・IT人材の育成強化に向けた訓練等 ※◎は新規	実施数：125コース、2,281人受講 (中止5コース) 〔企業ニーズを踏まえた主な研修内容〕 ◎ハラスメント対策(定員15、受講20) ◎メンタルヘルスケア(定員20、受講22) ◎ITリテラシー向上等(定員50、受講32)	実施計画数：125コース、2,132人 (前年比：1コース減、168人減) 〔企業ニーズを踏まえた主な研修内容〕 ◎離職防止をテーマとした研修 ◎業務自動化アプリの習得と導入を目指す研修	県
	④ 離職者等再就職訓練の訓練推進体制の継続【県】	・産業技術短期大学校、宮古高等技術専門校、二戸高等技術専門校、定住推進・雇用労働室において、企業及び求職者の訓練ニーズを適切に捉えつつ、訓練支援体制を継続	短期課程については、産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門校、二戸高等技術専門校で4地域に分かれて実施し、長期課程については、定住推進・雇用労働室において実施した。	引き続き、産業技術短期大学校、宮古高等技術専門校、二戸高等技術専門校、定住推進・雇用労働室において、企業及び求職者の訓練ニーズを適切に捉えつつ、訓練支援体制を継続する。	県
	⑤ 再編整備基本計画に基づく訓練環境の整備【県】	・各県立職業能力開発施設における課題の抽出を行い、再編整備基本計画の基礎となる現状分析を実施	訓練生のニーズなど現状把握を進めた。	現状の把握を進めた上で分析を進め課題の抽出を行う。	県
	⑥ 職業訓練指導員の育成【県】	・職業訓練指導員研修等の受講によりIT分野等最先端の学識・技術・技能を有した指導員を育成 ・熟練指導員からの日々のOJTを通じて、指導員としての技能・技術・人間性を涵養	・職業大等研修参加者：30名(延べ81人日)	・職業訓練指導員研修等の受講によりIT分野等最先端の学識・技術・技能を有した指導員を育成 ・熟練指導員からの日々のOJTを通じて、指導員としての技能・技術・人間性を涵養	県
(2) 国の職業能力開発施設	① ものづくり分野の人材育成のための訓練の実施【機構】	・離職者訓練 定員：延べ368名(前年比：増減なし) テクニカルオペレーション科：60名 金属加工科 52名 電気設備技術科 60名 住宅施工技術科 68名 ・在職者訓練 実施計画数：250名(前年比：増減なし)	・離職者訓練 定員：延べ368名(前年比：増減なし、定員設定) テクニカルオペレーション科：60名 金属加工科 52名 電気設備技術科 60名 住宅施工技術科 68名 ・在職者訓練 67コース 349名実施(前年比：45名増)	・離職者訓練 実施計画数：延べ368名(前年比：増減なし) テクニカルオペレーション科：60名 金属加工科 52名 電気設備技術科 60名 住宅施工技術科 68名 ・在職者訓練 実施計画数：250名(前年比：増減なし)	機構
		(3) 職業訓練法人	① 認定職業訓練を行う事業主等を支援【国、県】	・地場企業の訓練ニーズに対応できるよう、引き続き、認定職業訓練費補助金により、職業訓練法人の運営を支援 実施計画数：16団体(前年比：増減なし)	実績：16団体

目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度	達成度	担当
県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率	81.2%	83.6%	83.7%	A	県
在職者訓練の修了者数(県実施分)【再掲】	1,880人				